

本調査結果は、総務省の令和3年度「無線LANのセキュリティ確保に関するガイドラインの策定検討等に関する調査研究の請負」事業（受託者：株式会社情報通信総合研究所）により作成したものを、総務省で一部加工の上、公表するものです。

本資料に関する問合せ先等は次のページを確認願います。

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/cybersecurity/wi-fi/](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/cybersecurity/wi-fi/)

# 無線LAN利用者に対するアンケート調査

## 集計資料

令和4年3月

株式会社情報通信総合研究所

# ■ 標本設計

楽天インサイト  
調査モニタ  
(約220万人)

## プレ調査 (スクリーニング調査)

15歳～79歳の  
モニタを  
自然抽出  
(約3万ss)

## 本調査

プレ調査回答者から性×年代で割り付け  
(モバイル端末によるインターネットユーザ数の比率に基づく)

1000ss	男性	女性	合計
15歳～19歳	32	32	64
20歳～29歳	76	73	149
30歳～39歳	86	84	170
40歳～49歳	105	108	213
50歳～59歳	89	90	179
60歳～79歳	113	112	225
合計	501	499	1000

# ■プレ調査（スクリーニング調査）

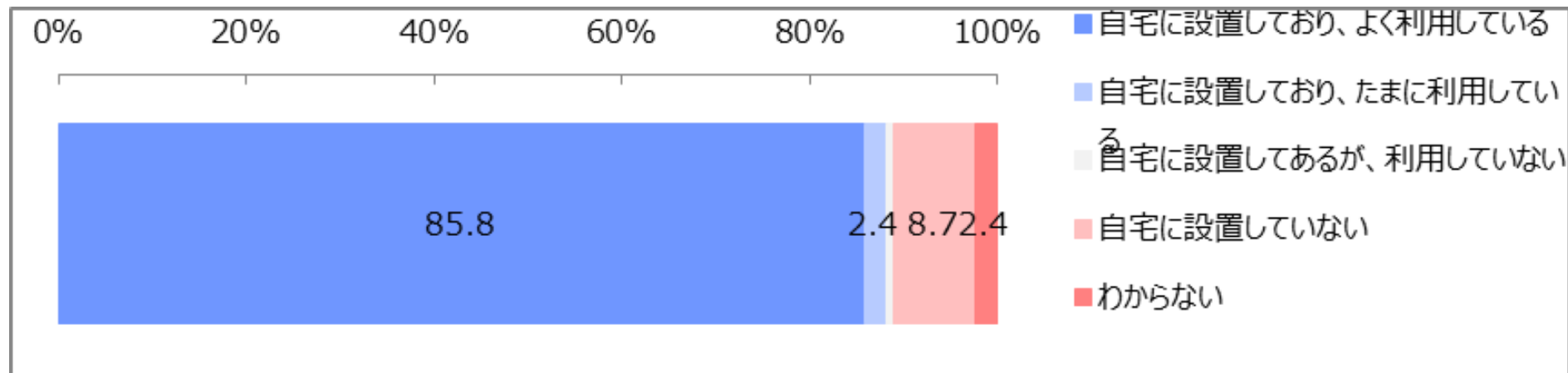
## □自宅Wi-Fi利用

- 自宅で無線LANを設置している人は約89%にのぼり、そのほとんどが、よく利用している。
- この傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC5.無線LAN（Wi-Fi）を自宅で利用していますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 自宅に設置しており、よく利用している	25754	85.8
2 自宅に設置しており、たまに利用している	725	2.4
3 自宅に設置してあるが、利用していない	206	0.7
4 自宅に設置していない	2596	8.7
5 わからない	719	2.4



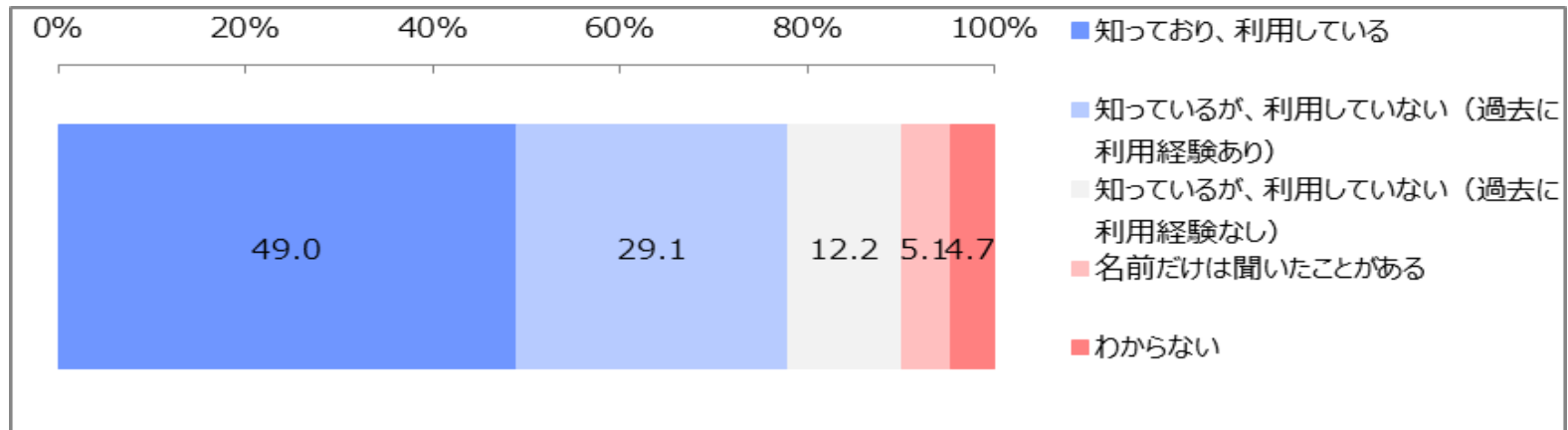
## □公衆Wi-Fi利用

- 公衆無線LANの認知は高く、約95%の人が知っているが、実際に利用している人は、その半分程度に留まっている。
- 過去に利用経験がありながら、現在は利用していない人が約3割と多い点に特徴がある。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC6.飲食店、駅、空港、観光スポット、ホテル、公共施設などの外出先で、無線LANを利用するためのサービスである「公衆無線LANサービス（Wi-Fiスポット、フリーWi-Fiなどともいう場合もあります。有料・無料を問いません。）」を知っていますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 知っており、利用している	14691	49.0
2 知っているが、利用していない（過去に利用経験あり）	8722	29.1
3 知っているが、利用していない（過去に利用経験なし）	3649	12.2
4 名前だけは聞いたことがある	1543	5.1
5 わからない	1395	4.7



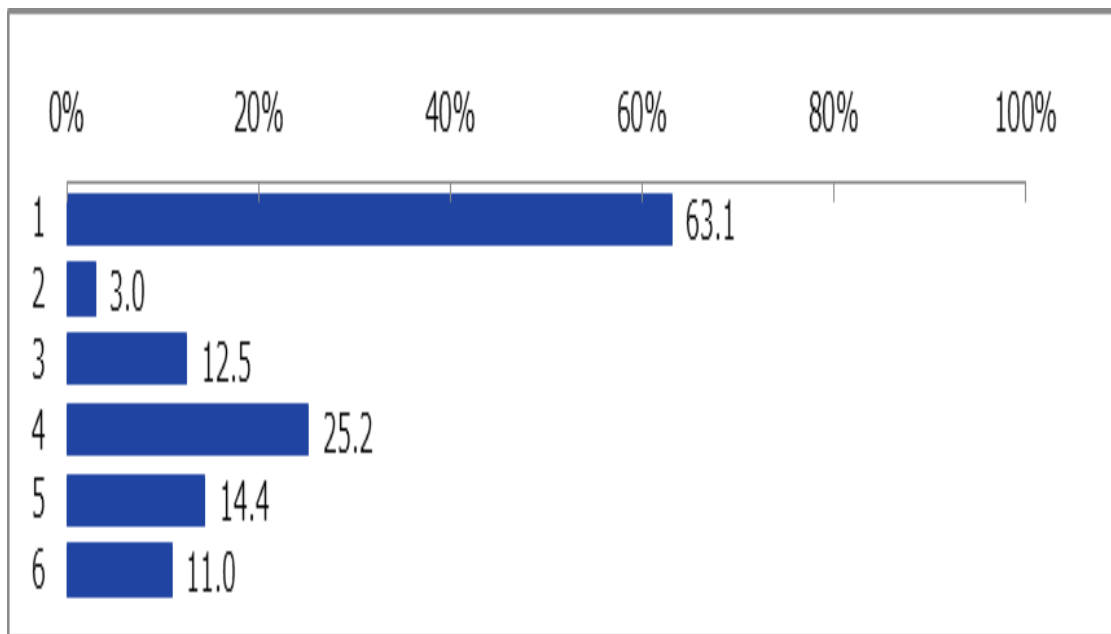
## □ 公衆Wi-Fi非利用理由

- 公衆無線LANを知っているが利用していない人の理由で最も多いものが「セキュリティ上の不安」（約63%）。
- 「携帯電話回線があれば十分」（約25%）といった他の理由を大きく引き離している。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC7.公衆無線LANサービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	12371	100.0
1 セキュリティ上の不安があるから	7812	63.1
2 金銭的余裕がないから	374	3.0
3 インターネットをそれほど利用しないから	1545	12.5
4 携帯電話回線があれば十分だから	3120	25.2
5 公衆無線LANサービスの提供範囲が狭いから	1783	14.4
6 どうやって利用していいかわからないから	1357	11.0



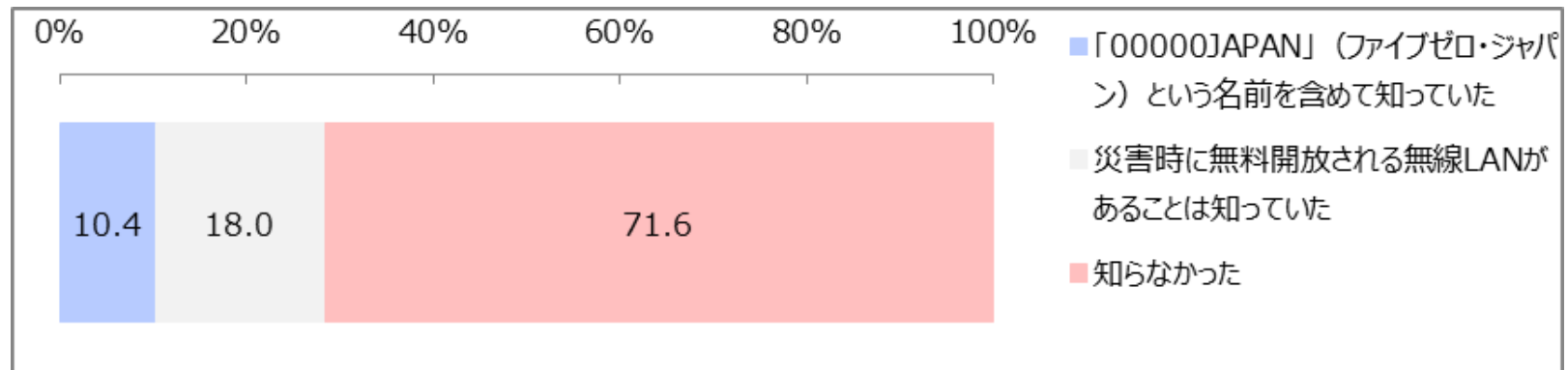
## □00000JAPAN認知

- 00000JAPANの認知度は低い。
- 災害時に無料開放される無線LANがあることは知っていた人は3割近くいるが、00000JAPANという名称を含めて知っていた人は約1割に留まる。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC8.災害時に被災地域の人々のために無料開放される公衆無線LANである「00000JAPAN」（ファイブゼロ・ジャパン）をご存じですか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 「00000JAPAN」（ファイブゼロ・ジャパン）という名前を含めて知っていた	3114	10.4
2 災害時に無料開放される無線LANがあることは知っていた	5405	18.0
3 知らなかった	21481	71.6



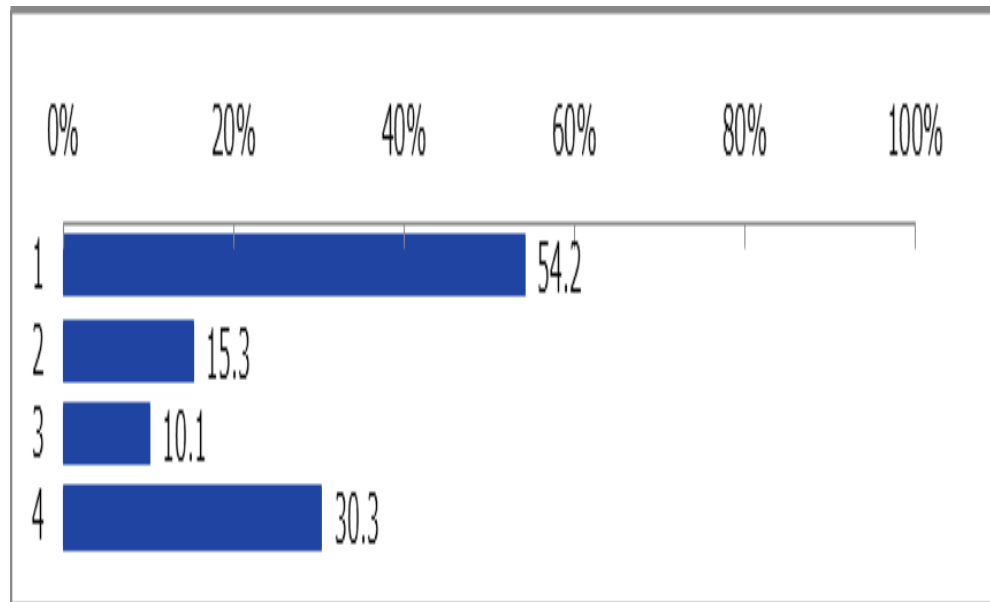
## □勤務先Wi-Fi環境

- 勤務先に無線LANが設置されている人は多い。
- 会社員・公務員の半分以上が、勤務先で業務用無線LANが提供されており、プライベート利用が可能な無線LANが提供されているケースも約15%ある。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC9.あなたの勤務先では、無線LANは提供されていますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	14815	100.0
1 業務用のものが提供されている	8024	54.2
2 従業員・職員がプライベート利用できるものが提供されている	2261	15.3
3 来訪者向けのものが提供されている	1503	10.1
4 わからない	4494	30.3





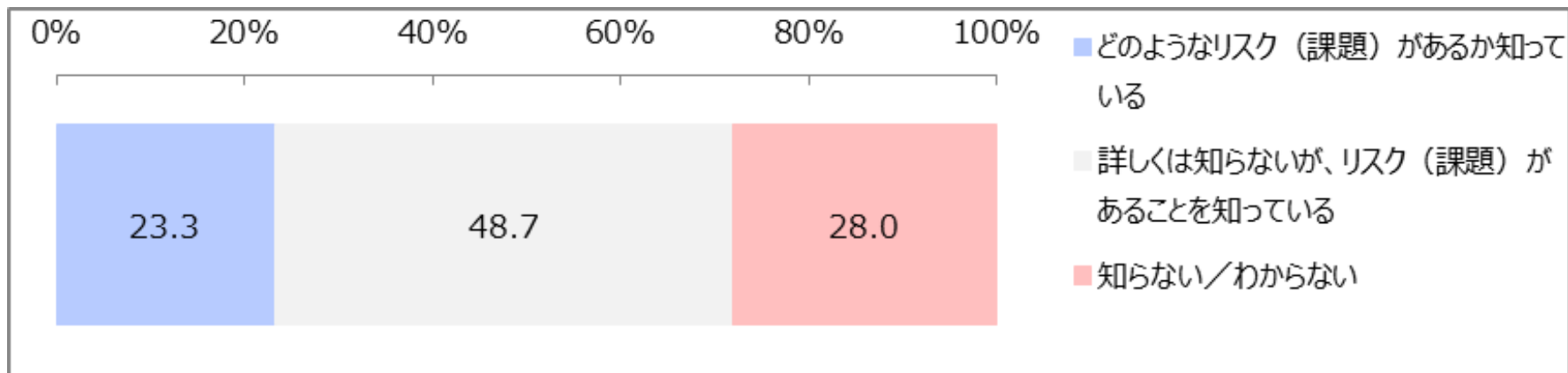
## □Wi-Fiリスク認知

- 無線LANにセキュリティ上のリスクがあることは比較的広く知られており、7割以上の人が認知している。
- ただし、どのようなリスクがあるか、まで知っている人は約2割に留まっている。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

SC10.無線LANを利用する際に、設定や利用方法に注意しておかないと、セキュリティ上のリスク（課題）があることを知っていますか。

SA

	n	%
全体	30000	100.0
1 どのようなリスク（課題）があるか知っている	6983	23.3
2 詳しくは知らないが、リスク（課題）があることを知っている	14624	48.7
3 知らない／わからない	8393	28.0



# ■ 本調査：自宅Wi-Fi利用者

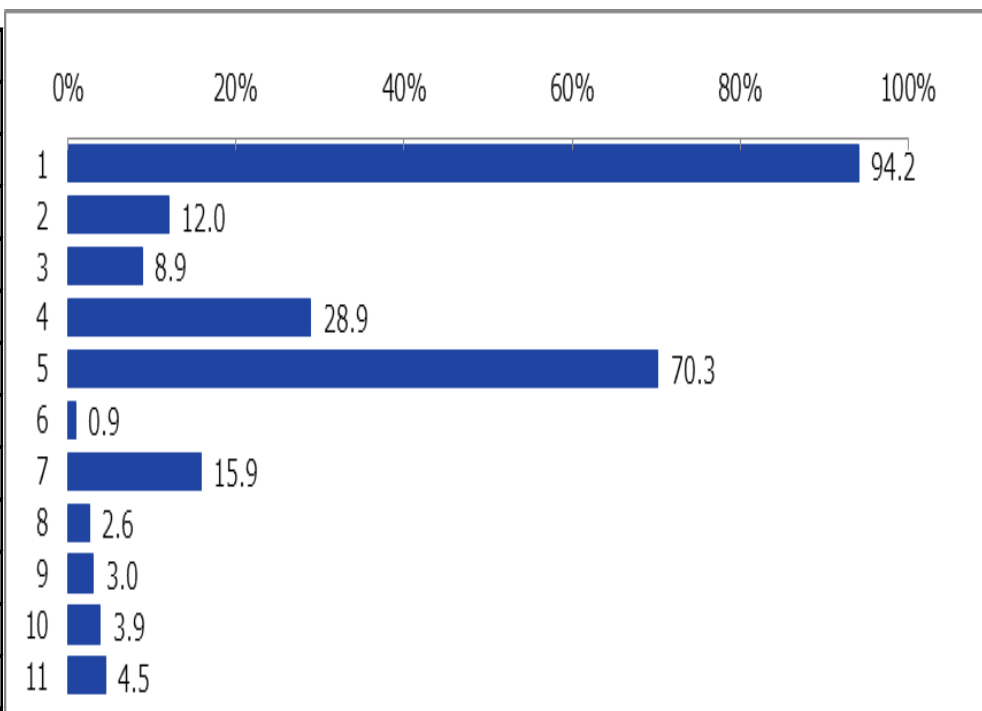
## □ 自宅Wi-Fi利用時の端末

- 自宅で無線LANを利用する人のほとんど（約94%）がスマートフォン（携帯電話契約あり）を利用しており、次いでパソコン利用者（約70%）が多い。

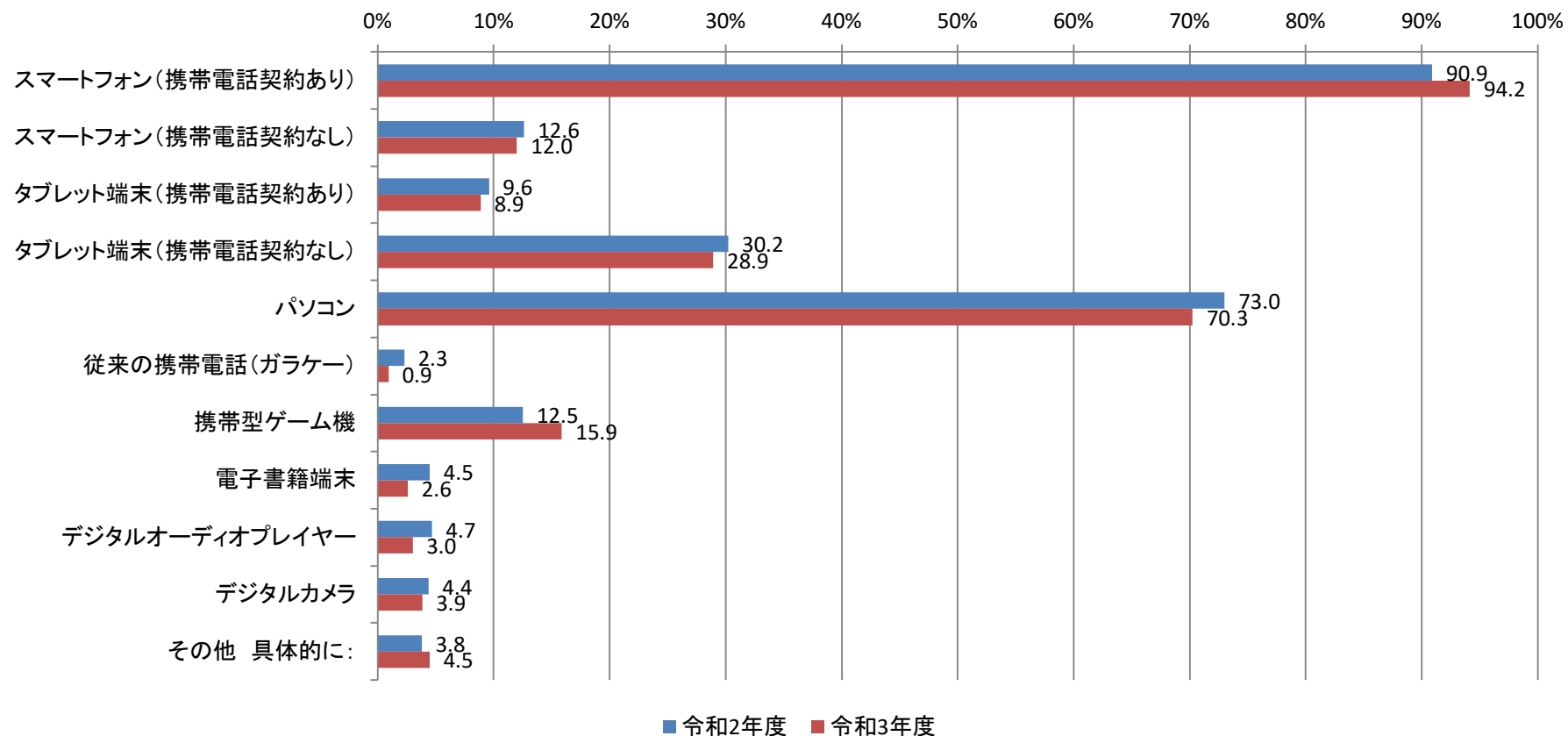
Q1.自宅の無線LANで利用している端末（家族がいる場合は、主に御自身で使用される端末）をお答えください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	958	100.0
1 スマートフォン（携帯電話契約あり）	902	94.2
2 スマートフォン（携帯電話契約なし）	115	12.0
3 タブレット端末（携帯電話契約あり）	85	8.9
4 タブレット端末（携帯電話契約なし）	277	28.9
5 パソコン	673	70.3
6 従来の携帯電話（ガラケー）	9	0.9
7 携帯型ゲーム機	152	15.9
8 電子書籍端末	25	2.6
9 デジタルオーディオプレイヤー	29	3.0
10 デジタルカメラ	37	3.9
11 その他 具体的に：	43	4.5



- 昨年度と比較すると、スマートフォン（携帯電話契約あり）利用者と携帯型ゲーム機利用者が増加している半面、パソコン利用者が減少している。



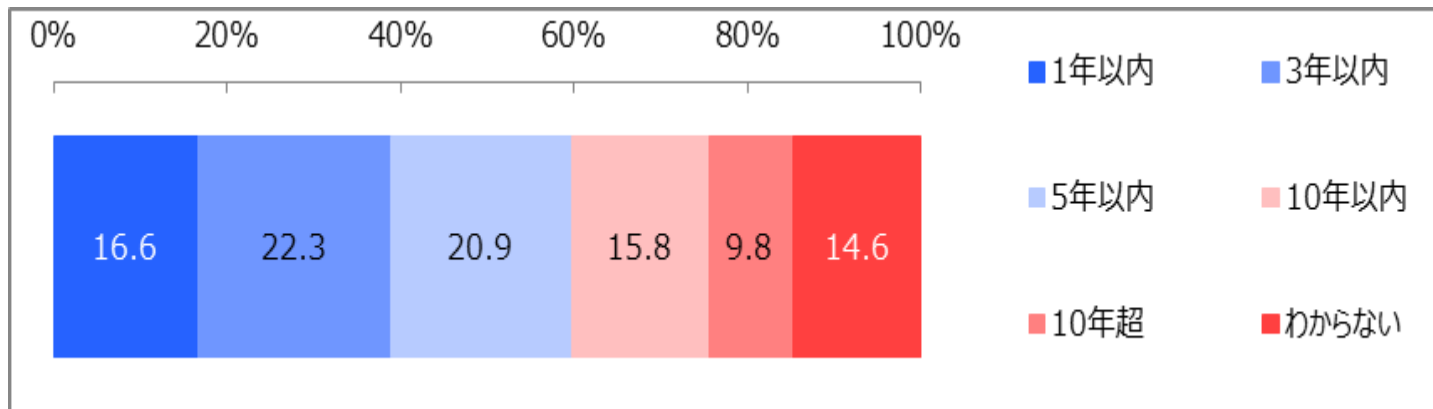
## □自宅Wi-Fiルータ購入時期

- 自宅の無線LANアクセスポイントを3年以内に購入した人は39%に留まっている。
- 3年以上経過した古い機器を使用している人は47%を占め、さらには購入時期を把握していない人も約15%いる。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q2.自宅の無線LANについて、そのアクセスポイント（親機）は何年前に購入しましたか。複数台ある場合は最も古い機器についてお答えください。

SA

	n	%
全体	958	100.0
1 1年以内	159	16.6
2 3年以内	214	22.3
3 5年以内	200	20.9
4 10年以内	151	15.8
5 10年超	94	9.8
6 わからない	140	14.6



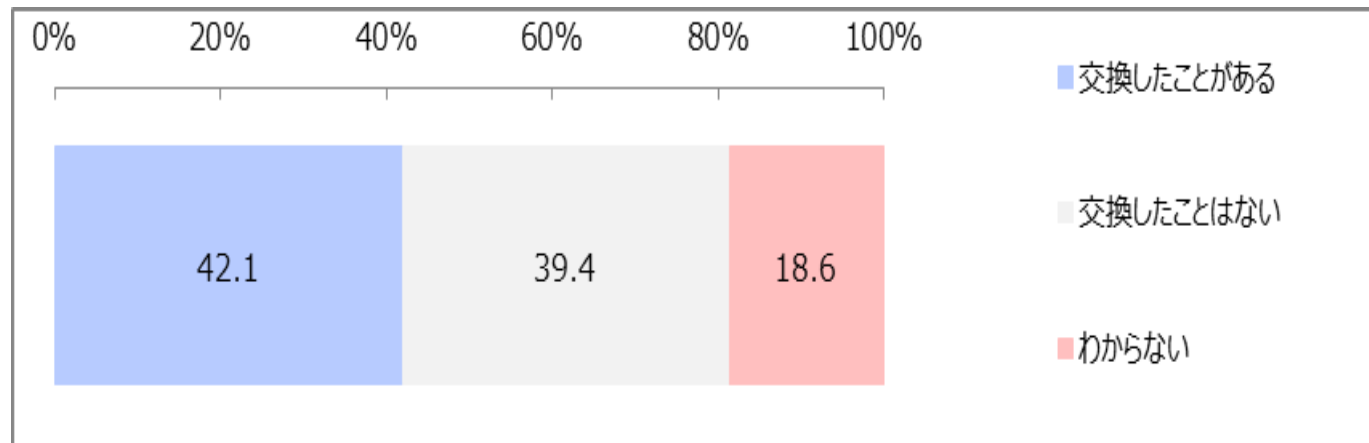
## □ 自宅Wi-Fiルータの交換履歴

- 自宅の無線LANを交換したことがあるユーザーと、交換したことがないユーザーは、それぞれ約4割ずつ。
- 交換履歴が分からないユーザーも約2割にのぼる。

Q3. 自宅の無線LANについて、アクセスポイント（親機）を交換したことがありますか。

SA

	n	%
全体	958	100.0
1 交換したことがある	403	42.1
2 交換したことはない	377	39.4
3 わからない	178	18.6

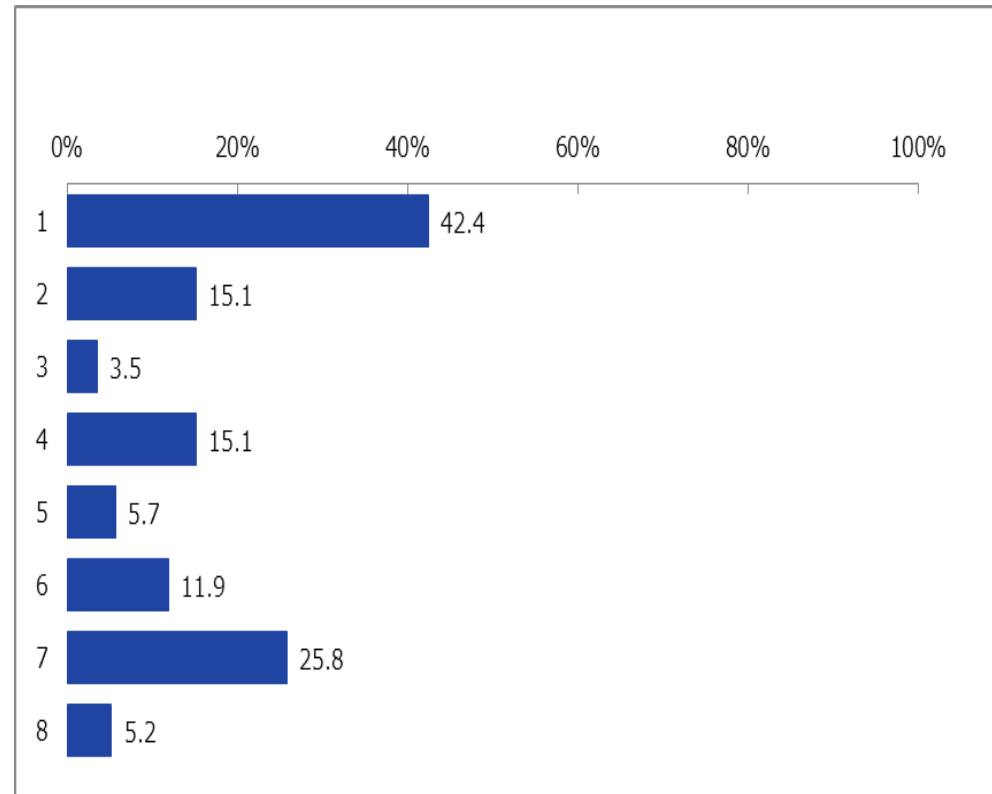


## □ 自宅Wi-Fiルータの交換理由

- 自宅の無線LANを交換した理由は、「通信速度への不満」が最多で42%。
- 次いで、「キャンペーン等で貰ったため」(26%)。
- 暗号化方式、ファームウェア、メーカーサポート切れなど、セキュリティ上の懸念を契機とした交換のケースは多くない。

Q4. 自宅の無線LANのアクセスポイント（親機）を交換した理由は何ですか。（いくMA

	n	%
全体	403	100.0
1 以前使用していたアクセスポイント（親機）の通信速度に不満があったため	171	42.4
2 以前使用していたアクセスポイント（親機）の通信範囲（到達距離）に不満があったため	61	15.1
3 以前使用していたアクセスポイント（親機）で使用可能な暗号化方式が推奨されないものであったため	14	3.5
4 以前使用していたアクセスポイント（親機）のファームウェアが古いものであったため	61	15.1
5 以前使用していたアクセスポイント（親機）のメーカーサポートが終了したため	23	5.7
6 以前使用していたアクセスポイント（親機）が故障したため	48	11.9
7 回線乗り換えやキャンペーン等で新たにアクセスポイント（親機）をもらったため	104	25.8
8 その他 具体的に：	21	5.2



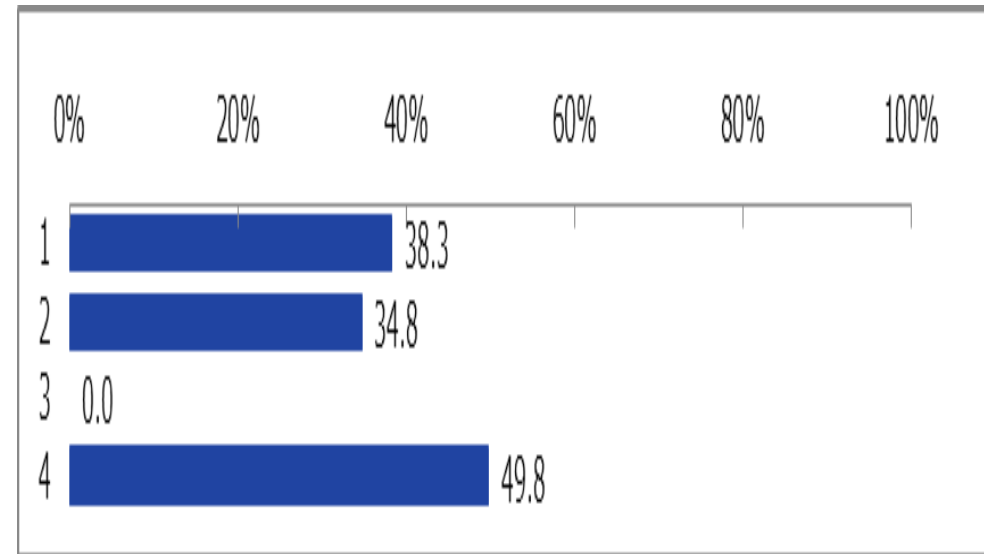
## □ 自宅Wi-Fiの周波数帯

- 自宅の無線LANで使用している周波数帯は、「2.4GHz帯」が38%、「5GHz帯」が35%、と、拮抗している。

Q5. 自宅の無線LANで使用している周波数帯は何ですか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	958	100.0
1 2.4GHz帯 (11b, 11g, 11n, 11ax)	367	38.3
2 5GHz帯 (11a, 11n, 11ac, 11ax)	333	34.8
3 その他 具体的に:	0	0.0
4 わからない	477	49.8

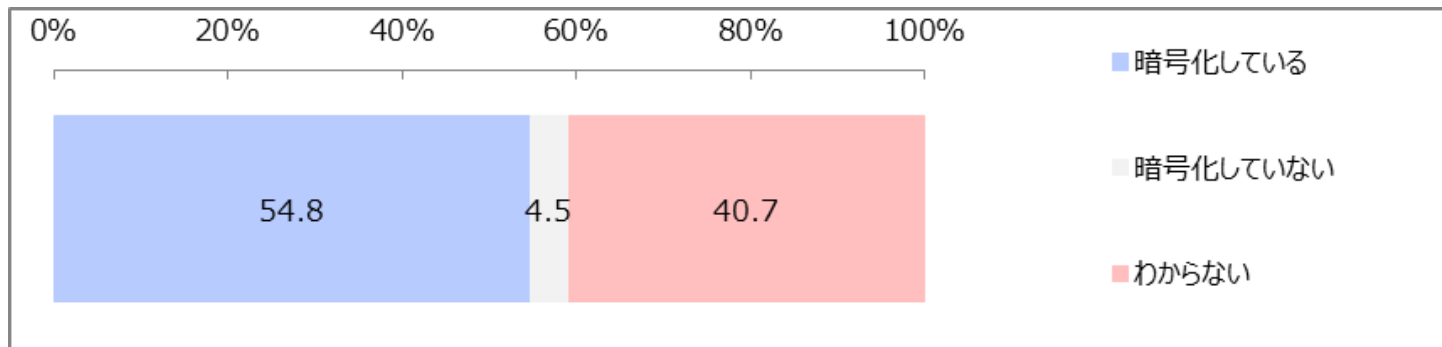


## □自宅Wi-Fiの暗号化

- 自宅の無線LANについて、無線の暗号化を行っている人が55%であり、昨年度調査(59%)より低下している。
- 暗号化をしていない人は非常に少ない（約5%）が、わからない人が41%おり、昨年度調査(36%)より増加している。

Q6.自宅の無線LANでは、無線の暗号化（WEP/WPA等）をしていますか。複数回答

	n	%
全体	958	100.0
1 暗号化している	525	54.8
2 暗号化していない	43	4.5
3 わからない	390	40.7





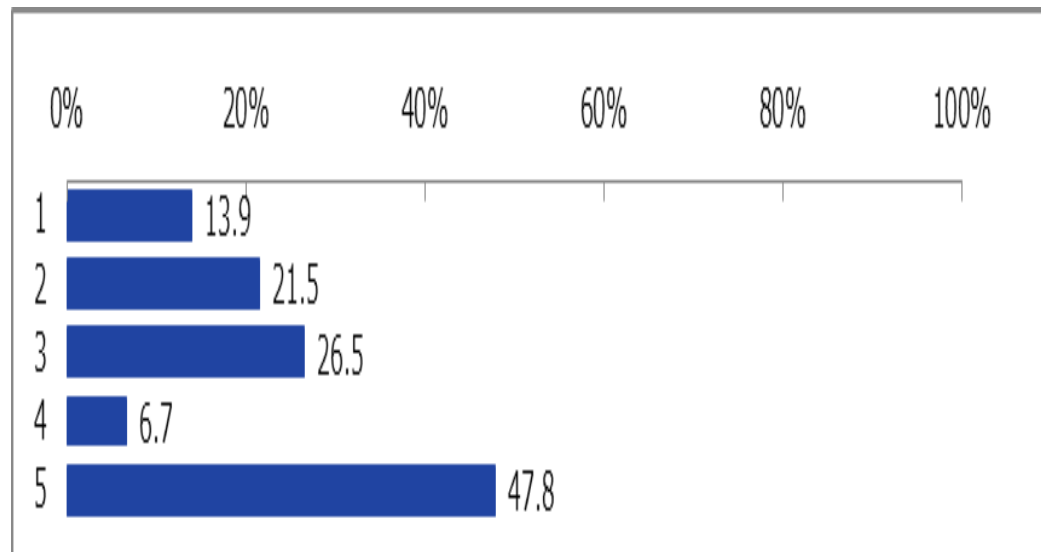
## □自宅Wi-Fiのセキュリティ方式

- 自宅の無線LANについて、無線の暗号化を行っている人のうち、WPA2を利用している人は昨年度の約23%から27%に増加し、WPA3も約5%から7%に増加している。
- 脆弱性が指摘されているWPA利用者が約22%、WEPが約14%ほどいるが、セキュリティ方式が分からない人も半数近くいる。

Q7.自宅の無線LANの暗号化には、どのようなセキュリティ方式を用いていますか。

MA

	n	%
全体	525	100.0
1 WEP	73	13.9
2 WPA	113	21.5
3 WPA2	139	26.5
4 WPA3	35	6.7
5 わからない	251	47.8



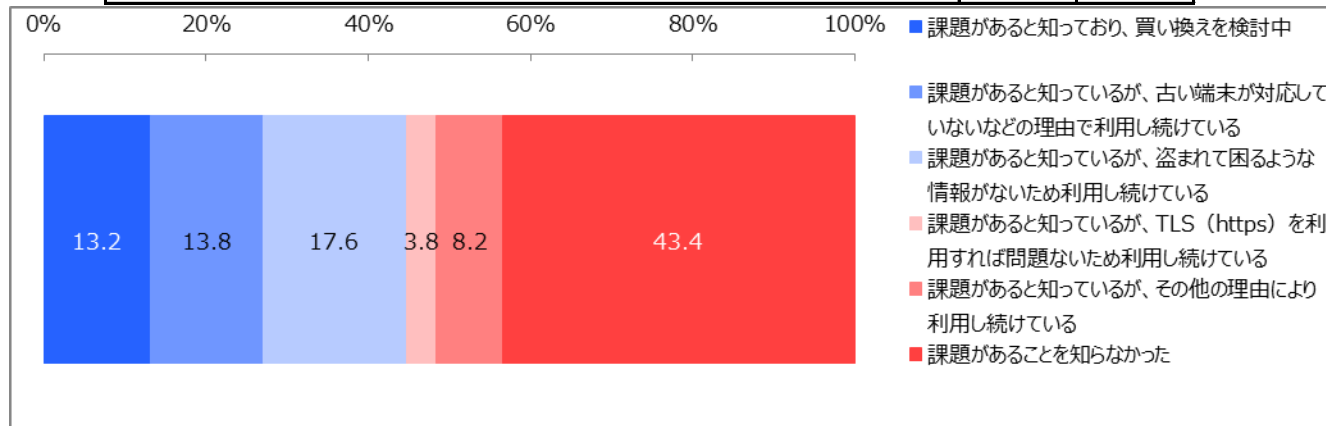
## □自宅Wi-Fiで脆弱な暗号を利用する理由

- 自宅の無線LANについて、WEP/WPAを利用している人のうち、約6割はセキュリティ上の課題を認識したうえで利用しており、約2割は買い替えを検討中。
- 約4割はセキュリティ上の課題を認識していない。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q8.暗号化のうちWEPやWPAについては、セキュリティ上の課題（暗号化した通信内容を解読されるおそれ）があることから、一般的に使用は推奨されていません。使用している状況についてお答えください。

SA

	n	%
全体	159	100.0
1 課題があると知っており、買い替えを検討中	21	13.2
2 課題があると知っているが、古い端末が対応していないなどの理由で利用し続けている	22	13.8
3 課題があると知っているが、盗まれて困るような情報がないため利用し続けている	28	17.6
4 課題があると知っているが、TLS (https) を利用すれば問題ないため利用し続けている	6	3.8
5 課題があると知っているが、その他の理由により利用し続けている	13	8.2
6 課題があることを知らなかった	69	43.4



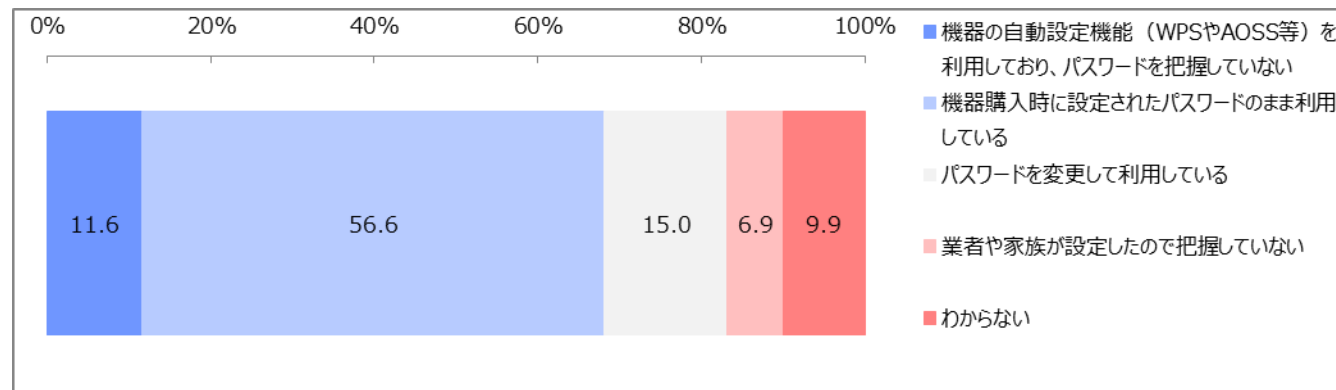
## □自宅Wi-Fiの暗号化パスワード

- 自宅の無線LANの暗号化パスワードは、機器購入時のデフォルト設定のまま利用し続けているユーザが過半であり、パスワードを変更して利用しているユーザは15%に過ぎない。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q9.自宅の無線LANの暗号化に用いているパスワード（パスフレーズ）はどのように設定していますか。

SA

	n	%
全体	525	100.0
1 機器の自動設定機能（WPSやAOSS等）を利用しており、パスワードを把握していない	61	11.6
2 機器購入時に設定されたパスワードのまま利用している	297	56.6
3 パスワードを変更して利用している	79	15.0
4 業者や家族が設定したので把握していない	36	6.9
5 わからない	52	9.9



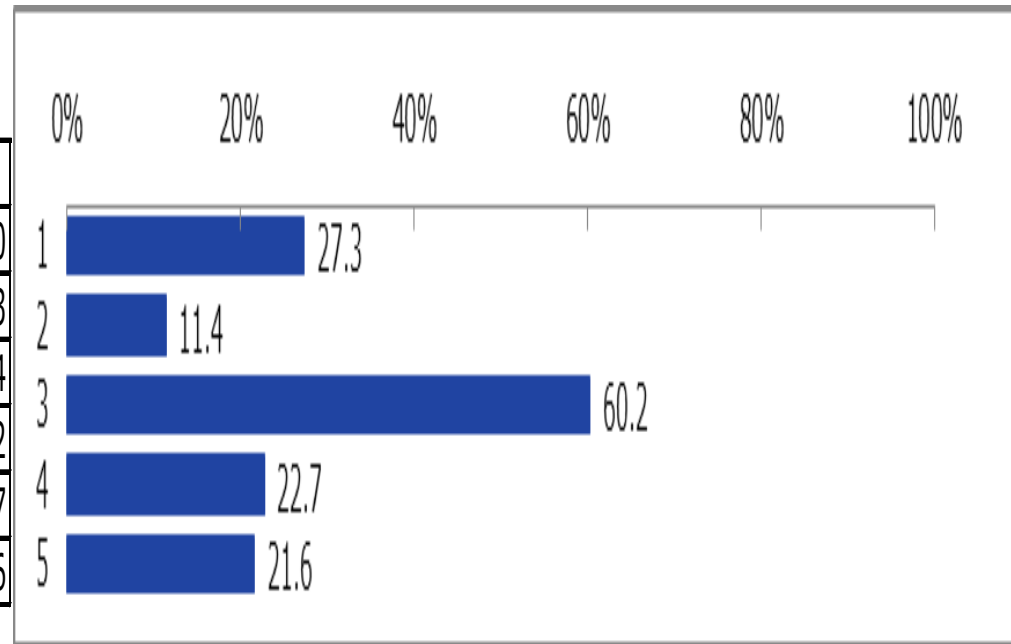
## □ 自宅Wi-Fiの暗号化パスワード設定の留意点

- 自宅の無線LANの暗号化パスワードを変更して利用している人の約60%が「第三者に推測されにくいパスワード」を用いているが、昨年度調査の約68%から減少している。

Q12. 自宅の無線LANの管理用パスワードは何に留意して設定していますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	88	100.0
1 忘れにくいパスワード (よく使っているもの)	24	27.3
2 忘れにくいパスワード (単純なもの)	10	11.4
3 第三者に推測されにくいパスワード	53	60.2
4 他の機器やサービスでは使っていない独自のパスワード	20	22.7
5 無線LANの暗号化用のパスワードとは別のパスワード	19	21.6



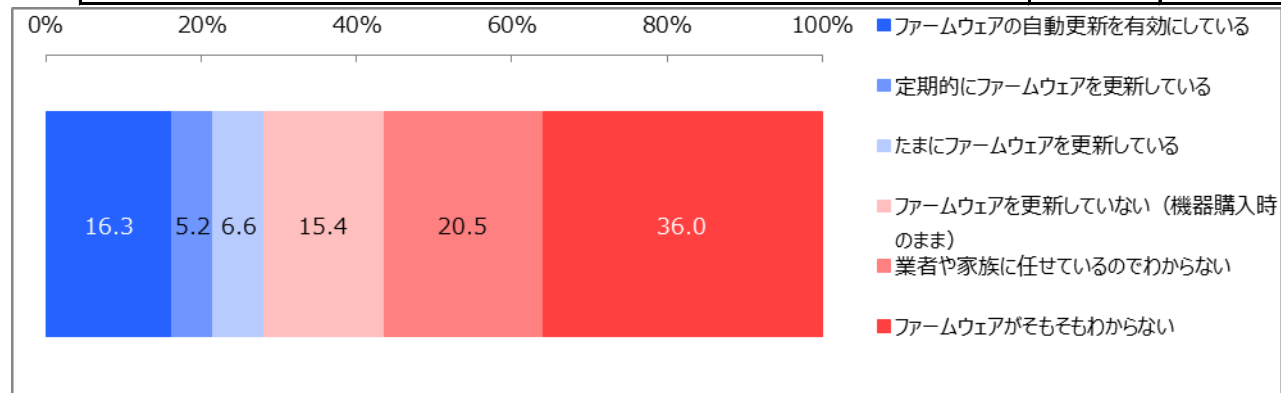
## □自宅Wi-Fiルータファームウェアアップデート

- 28%のユーザが、自宅の無線LANの親機のファームウェアを自動または手動により更新している。
- 業者や家族に任せているのでわからないユーザが約21%いるのに加え、ファームウェアがそもそもわからないユーザが36%いる。
- 昨年度調査よりも更新率は低下傾向にある。

Q13.自宅の無線LANについて、そのアクセスポイント（親機）のファームウェア（ソフトウェア）のアップデートを実施していますか。

SA

	n	%
全体	958	100.0
1 ファームウェアの自動更新を有効にしている	156	16.3
2 定期的にファームウェアを更新している	50	5.2
3 たまにファームウェアを更新している	63	6.6
4 ファームウェアを更新していない（機器購入時のまま）	148	15.4
5 業者や家族に任せているのでわからない	196	20.5
6 ファームウェアがそもそもわからない	345	36.0



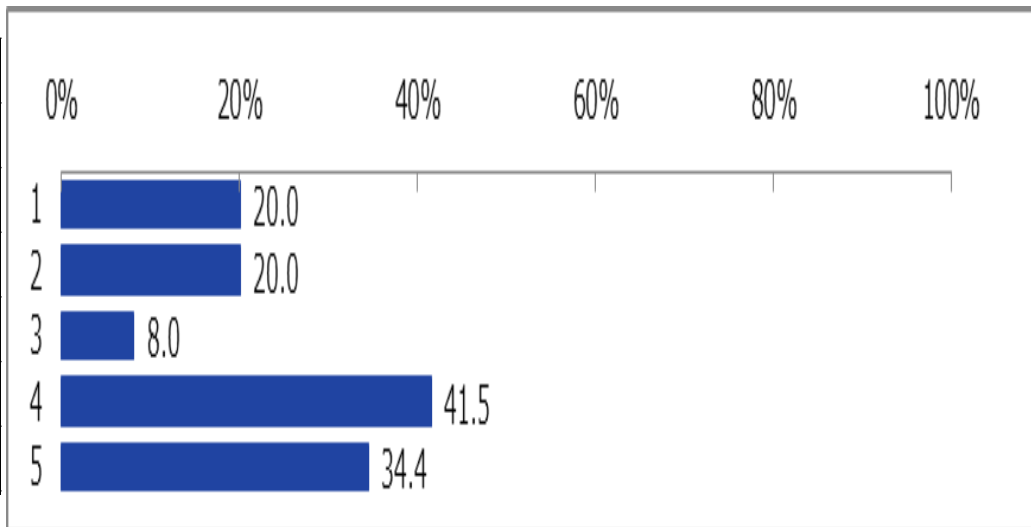
## □ 自宅Wi-Fi利用の不安感

- 自宅の無線LANについて、セキュリティ上の不安がある人が約7割、不安がない人が約3割、に分かれている。
- セキュリティ上の不安のうち、最も多いものは「漠然とした不安」で4割を超えている。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q14.自宅の無線LANについて、セキュリティ上の不安はありますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	958	100.0
1 情報窃取（個人情報やID/パスワードの漏えい等）の不安がある	192	20.0
2 外部から不正侵入を受ける不安がある	192	20.0
3 金銭的被害を受ける不安がある	77	8.0
4 漠然としたセキュリティ上の不安がある	398	41.5
5 セキュリティ上の不安はない	330	34.4



# ■ 本調査：公衆Wi-Fi利用者

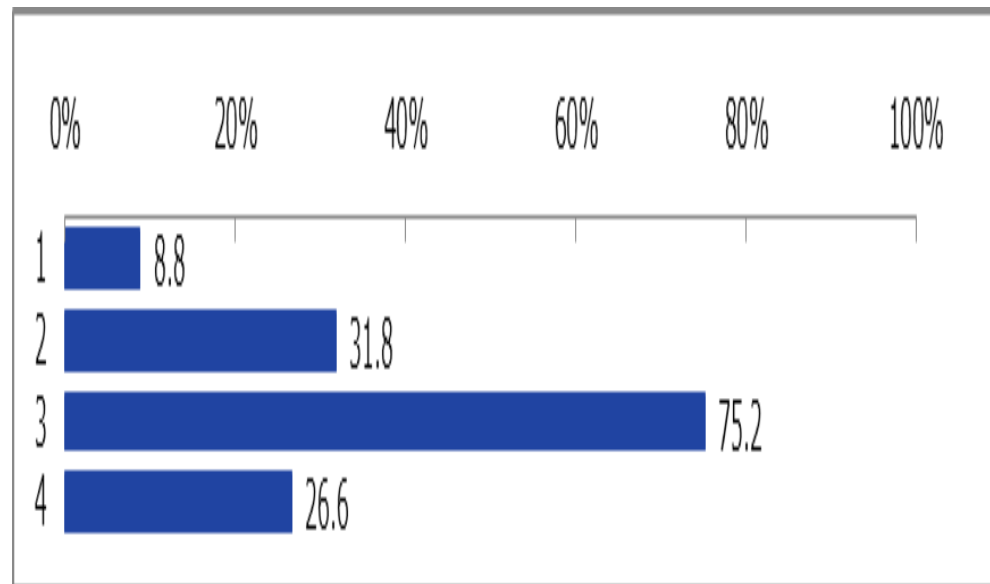
## □ 利用する公衆Wi-Fiの種類

- 公衆無線LANサービス利用者の約75%は、お店・ホテル・自治体などが提供する無料サービスを使用している。
- 提供者不明ながら、パスワード不要で利用できてしまう無料の公衆無線LANサービスを利用するユーザも約28%いる。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q15.公衆無線LANサービスとしてどのようなサービスを利用していますか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	537	100.0
1 有料のサービス	47	8.8
2 携帯電話契約などに付属した実質無料で使えるサービス	171	31.8
3 無料のサービス（お店やホテル、自治体などが提供しているもの）	404	75.2
4 無料のサービス（パスワード不要／提供している事業者は不明）	143	26.6



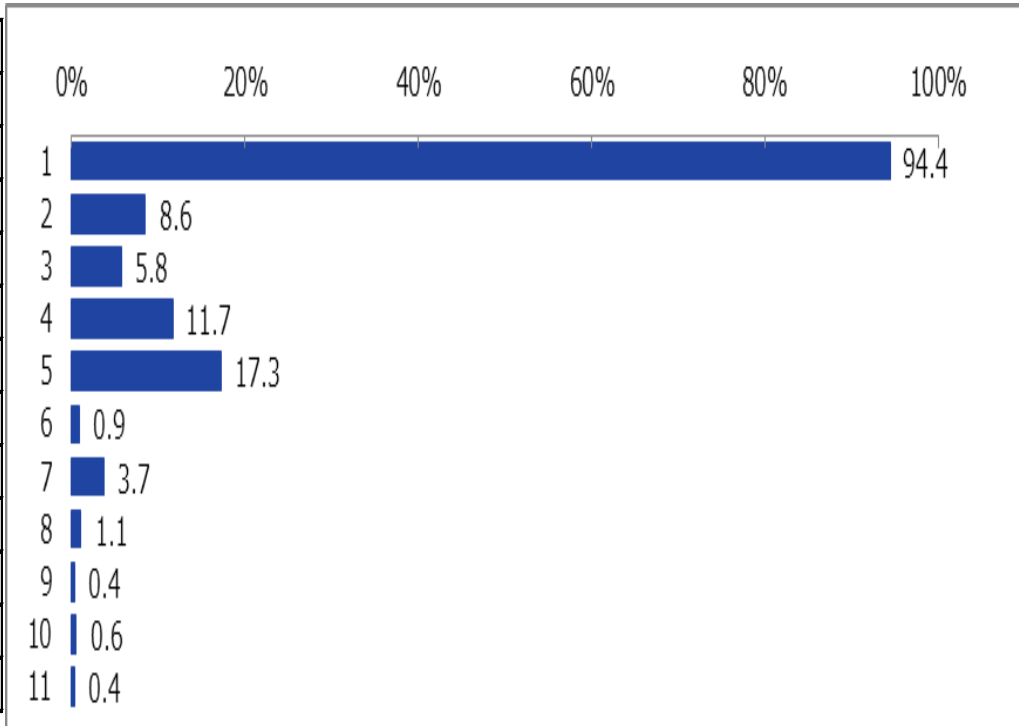
## □ 公衆Wi-Fi利用時の端末

- 公衆無線LANサービスを利用するユーザのほとんど（約94%）がスマートフォン（携帯電話契約あり）を利用している。
- 次いでパソコン利用者（約27%）、タブレット端末（携帯電話契約なし）（約12%）が多いが、かなり比率は低い。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q16.公衆無線LANサービスで利用している端末をお答えください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	537	100.0
1 スマートフォン（携帯電話契約あり）	507	94.4
2 スマートフォン（携帯電話契約なし）	46	8.6
3 タブレット端末（携帯電話契約あり）	31	5.8
4 タブレット端末（携帯電話契約なし）	63	11.7
5 パソコン	93	17.3
6 従来の携帯電話（ガラケー）	5	0.9
7 携帯型ゲーム機	20	3.7
8 電子書籍端末	6	1.1
9 デジタルオーディオプレイヤー	2	0.4
10 デジタルカメラ	3	0.6
11 その他：	2	0.4





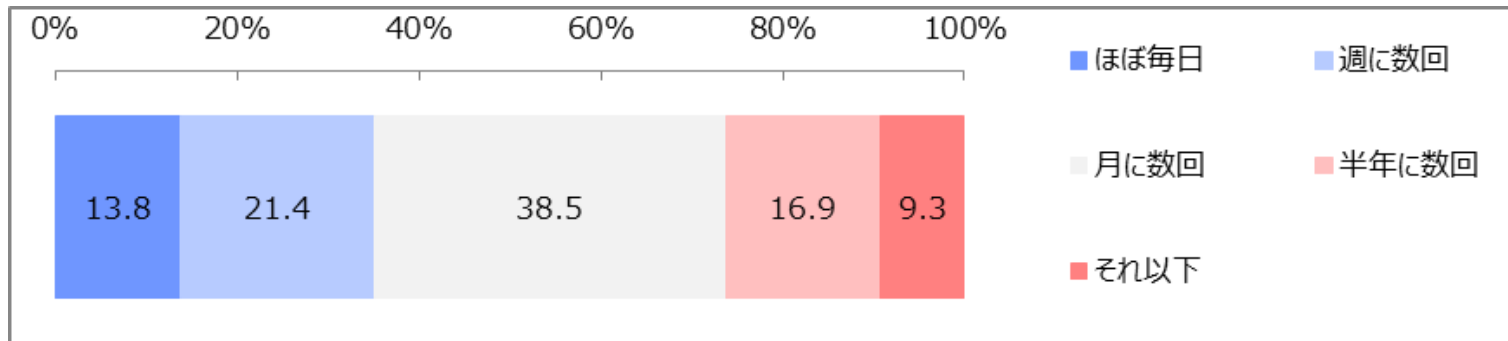
## □公衆Wi-Fi利用頻度

- 公衆無線LANサービスをほぼ毎日利用するユーザが約14%、週に数回利用するユーザが約21%で、いわゆるヘビーユーザは3分の1程度に留まる。
- 最も多いのは、月に数回程度の利用者で、約4割を占める。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q17.公衆無線LANサービスをどのくらいの頻度で利用していますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 ほぼ毎日	74	13.8
2 週に数回	115	21.4
3 月に数回	207	38.5
4 半年に数回	91	16.9
5 それ以下	50	9.3

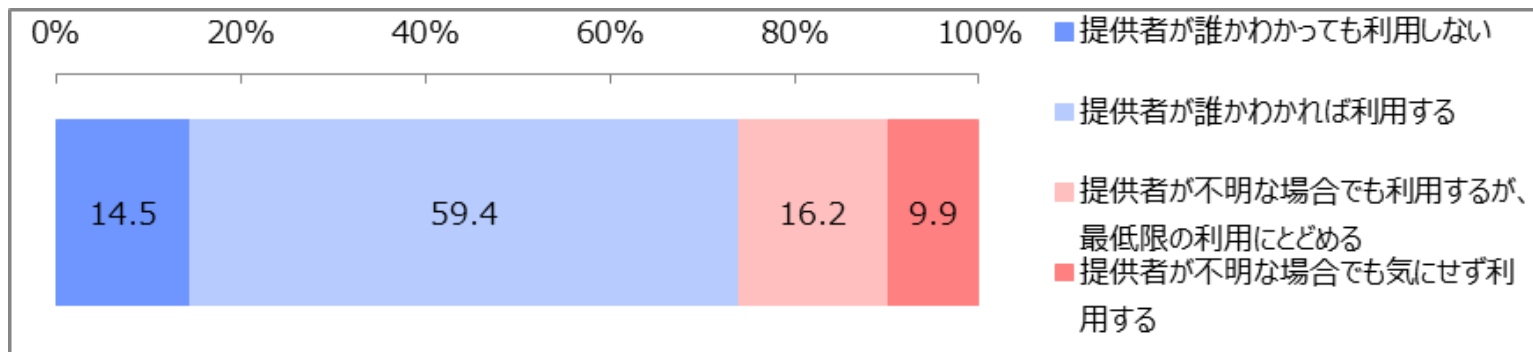


## □新たな公衆Wi-Fi発見時の接続行動

- 外出先で「パスワードなしで接続可能な無線LANサービス」を見つけたとき、提供者が分かれば利用するユーザの比率が、昨年度調査の約65%から約59%に低下している。

Q18.外出先でパスワードなしで接続可能な無線LANを見つけた場合に利用します  
SA

	n	%
全体	537	100.0
1 提供者が誰かわかっても利用しない	78	14.5
2 提供者が誰かわかれば利用する	319	59.4
3 提供者が不明な場合でも利用するが、最低限の利用にとどめる	87	16.2
4 提供者が不明な場合でも気にせず利用する	53	9.9



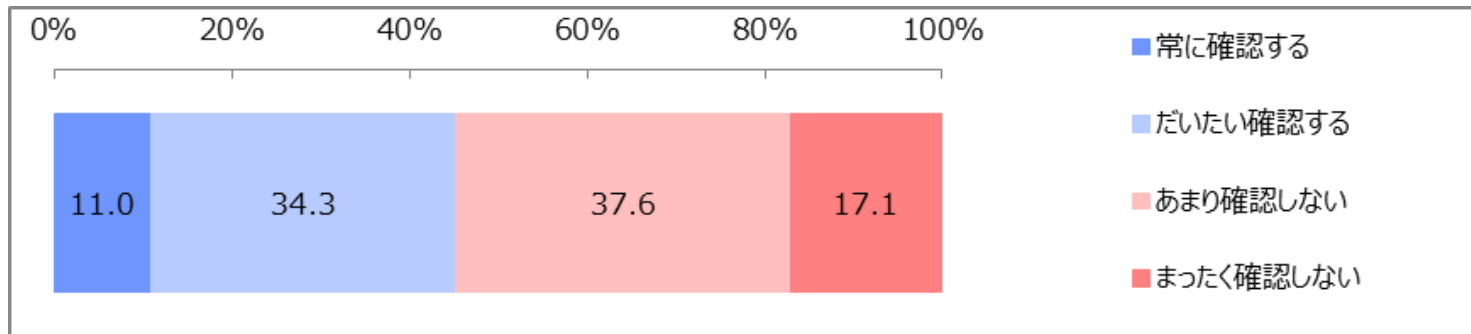
## □初めて利用する公衆Wi-Fiでの利用規約・注意事項の確認

- 公衆無線LANサービスを初めて利用する際、利用規約や注意事項を確認するユーザーと確認しないユーザーは、昨年度調査では、約49%対約51%で、ちょうど半々に分かっていたが、今年度調査では、約45%対約55%と、確認しないユーザーが増加している。

Q19.公衆無線LANサービスを初めて利用する際に、利用規約や注意事項を確認しますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 常に確認する	59	11.0
2 だいたい確認する	184	34.3
3 あまり確認しない	202	37.6
4 まったく確認しない	92	17.1



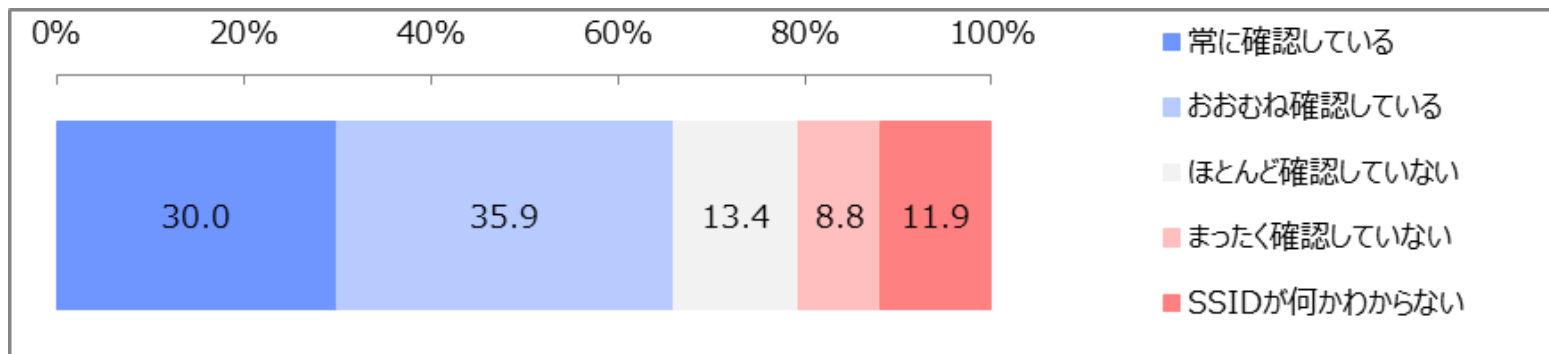
## □ 【SSID】 公衆Wi-Fi利用時のSSIDの確認

- 公衆無線LANサービス利用時、常にSSIDを確認するユーザが30%、概ね確認する人が約36%おり、合わせて約66%が「SSID確認派」。
- SSIDを確認しないユーザも約22%いるが、そもそも、SSIDが何かわからないユーザも約12%を占める。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q20.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、接続先の名前である「SSID」を確認していますか。なお、「SSID」は次の図のように無線LANの接続先リストの一覧に表示される名前のことです。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 常に確認している	161	30.0
2 おおむね確認している	193	35.9
3 ほとんど確認していない	72	13.4
4 まったく確認していない	47	8.8
5 SSIDが何かわからない	64	11.9



## □ 【SSID】 公衆Wi-Fi利用時のSSIDの確認シーン

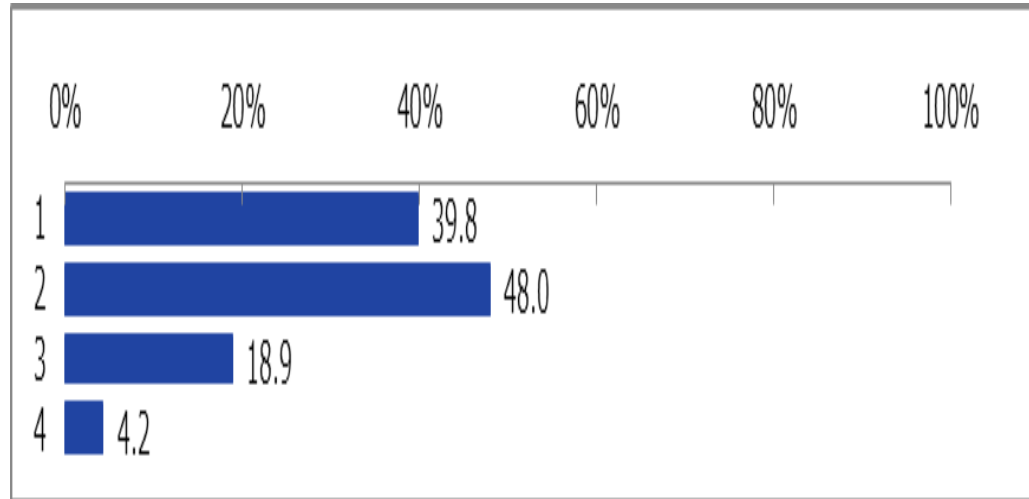
- 公衆無線LANサービス利用時にSSIDを確認するユーザの約半数は普段利用しない場所で使うときにSSIDの確認をしている。
- 状況によらず常に確認している人も4割程度いる。
- これらの傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q21.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、「SSID」を確認するのはどのようなときですか。

(いくつでも)

MA

	n	%
全体	354	100.0
1 状況によらず常に確認している	141	39.8
2 普段利用しない場所で使うとき	170	48.0
3 通信状況が悪いとき（通信が重い、途切れるなど）	67	18.9
4 個人情報など重要な情報をやりとりするとき	15	4.2



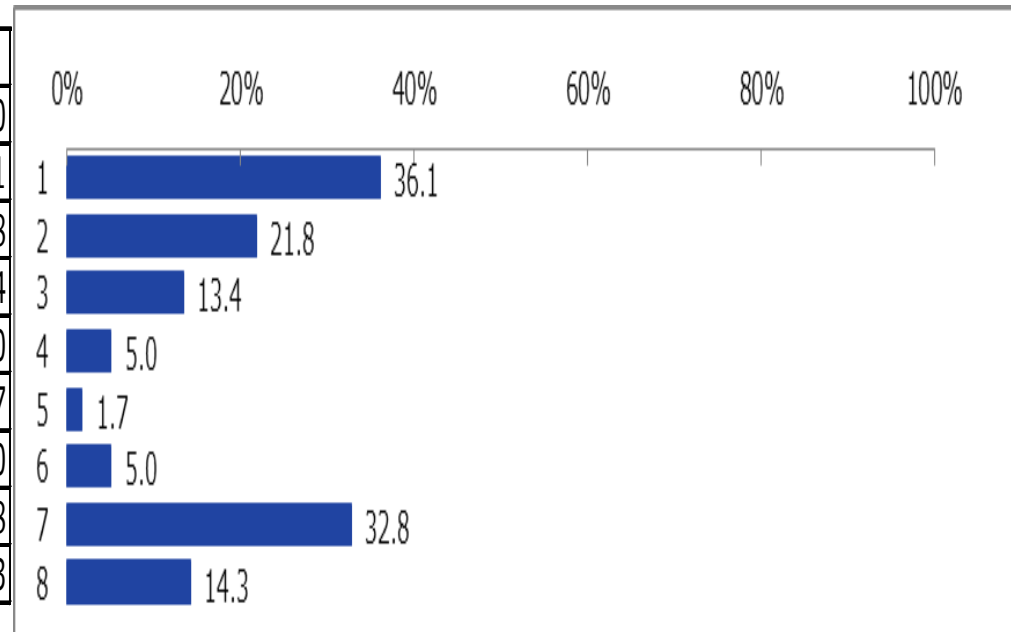
## □ 【SSID】 外出先でのWi-Fi利用時のSSID非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時にSSIDを確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約36%）、面倒くさい（約33%）、自動接続される（約22%）などが多い。

Q22.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、「SSID」を確認しないのはなぜですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	119	100.0
1 確認方法がわからないため	43	36.1
2 サービスエリアになると自動接続されるため	26	21.8
3 個人情報などの重要な情報をやりとりしないため	16	13.4
4 端末にセキュリティ対策をしているため	6	5.0
5 VPNサービスを利用しているため	2	1.7
6 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用しているため	6	5.0
7 確認が面倒くさいため	39	32.8
8 確認の必要性を感じないため	17	14.3



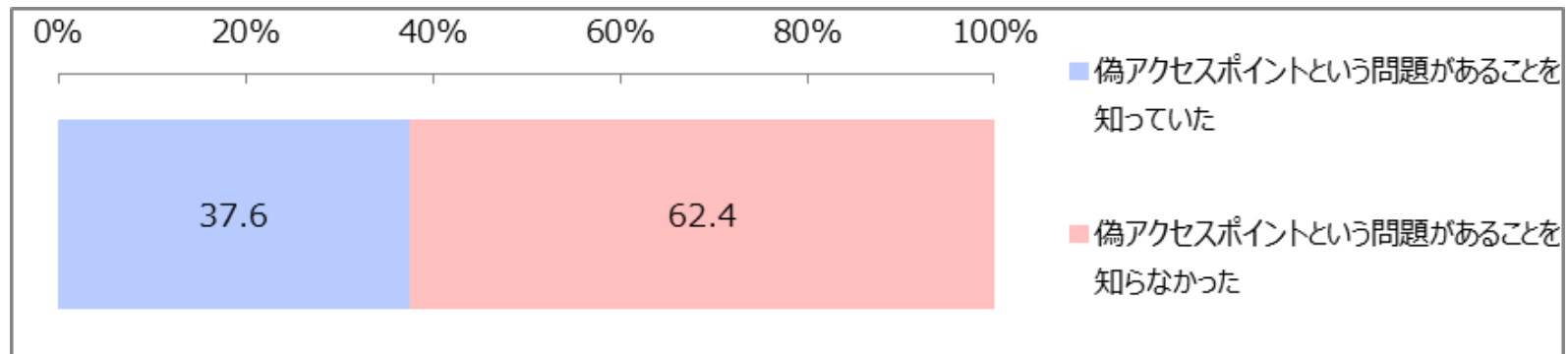
## □ 【SSID】 偽アクセスポイント問題の認知

- 公衆無線LANサービス利用者は、偽アクセスポイント問題について、認知している人と認知していない人の比率が約4割対約6割となっており、十分には認知されていない。
- この傾向は、昨年度とほぼ同様である。

Q23.公衆無線LANサービスには「SSID」が本物と同じである偽物のサービスを比較的簡単に構築することができます。こうした偽の接続先を「偽アクセスポイント」と呼び、これに接続してしまうと、通信内容が盗み見られることがあります。こういったことをご存じでしたか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 偽アクセスポイントという問題があることを知っていた	202	37.6
2 偽アクセスポイントという問題があることを知らなかった	335	62.4



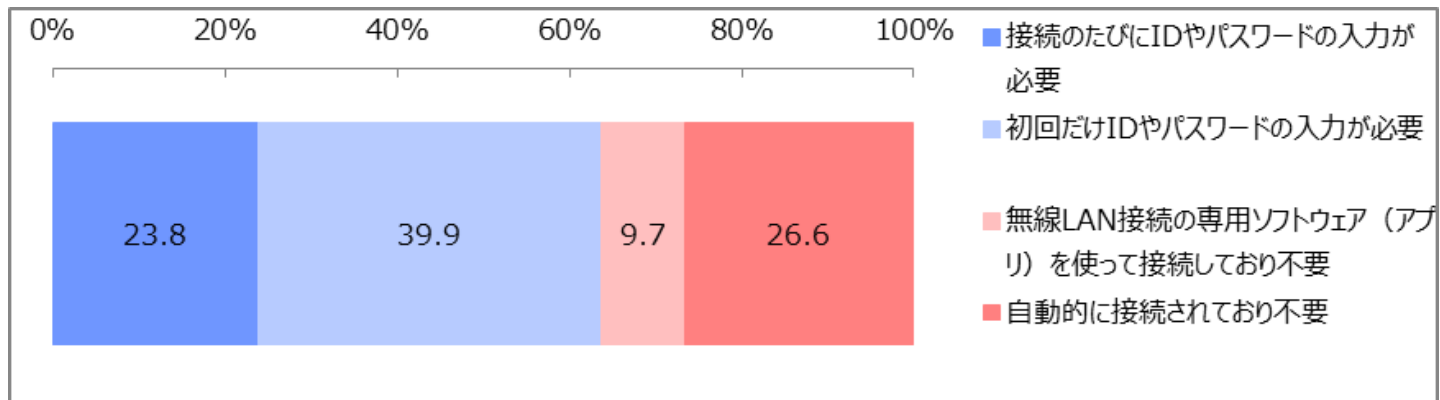
## □公衆Wi-FiでのID・PWの都度入力の要否

- 接続の都度、IDやパスワードの入力が必要な公衆無線LANサービス利用者は昨年度調査では約28%だったが、今年度調査では約24%に減少している。
- 初回だけID・パスワードの入力が必要なサービスの利用者（約40%）や、自動接続されるユーザ（約27%）が多い。

Q24.あなたが普段使用する公衆無線LANサービスは、接続のたびにIDやパスワードの入力が必要ですか。  
最も利用する公衆無線LANサービスについてお答えください。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 接続のたびにIDやパスワードの入力が必要	128	23.8
2 初回だけIDやパスワードの入力が必要	214	39.9
3 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を使って接続しており不要	52	9.7
4 自動的に接続されており不要	143	26.6





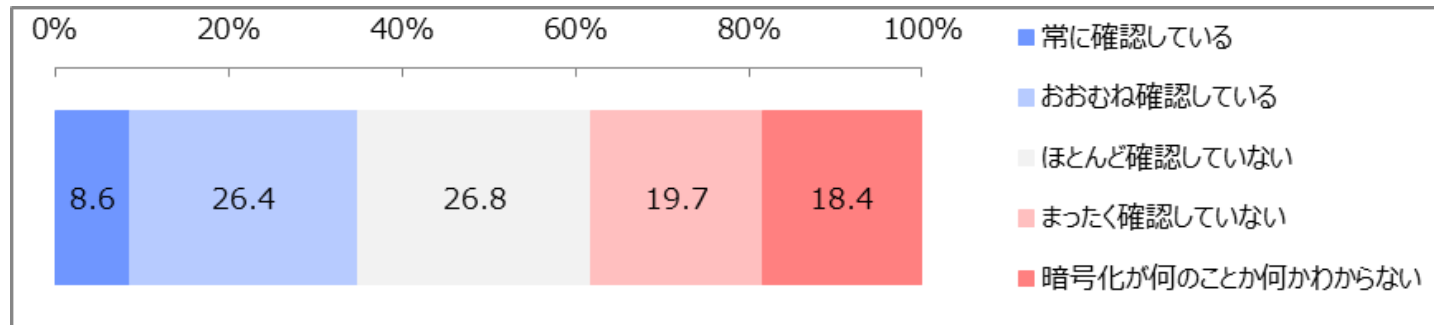
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の確認

- 公衆無線LANサービス利用時に無線区間の暗号化の有無を確認しているユーザは、昨年度調査の約39%から、今年度は約35%に減少。
- 常時確認者は約9%しかおらず、そもそも、暗号化が何のことかわからないユーザが約18%いる。

Q25.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化（WPA2等）の有無を確認していますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 常に確認している	46	8.6
2 おおむね確認している	142	26.4
3 ほとんど確認していない	144	26.8
4 まったく確認していない	106	19.7
5 暗号化が何のことか何かわからない	99	18.4



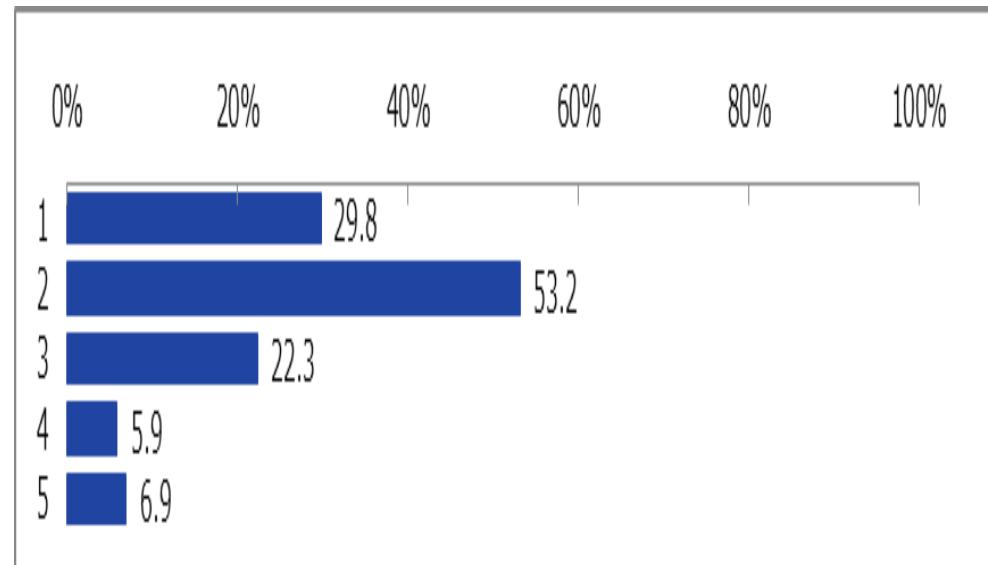
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の確認シーン

- 昨年調査では、公衆無線LANサービス利用時に暗号化を確認する人の6割強が、初めて利用するサービスのために暗号化の確認をしていたが、今年度調査では、53%に低下している。
- 状況によらず常に確認しているユーザ比率は昨年度同様に約3割。

Q26. 公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化の有無を確認するのはどのようなときですか。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	188	100.0
1 状況によらず常に確認している	56	29.8
2 初めて利用する公衆無線LANサービスのとき	100	53.2
3 普段利用しない場所で使うとき	42	22.3
4 通信状況が悪いとき（通信が重い、途切れるなど）	11	5.9
5 個人情報など重要な情報をやりとりするとき	13	6.9



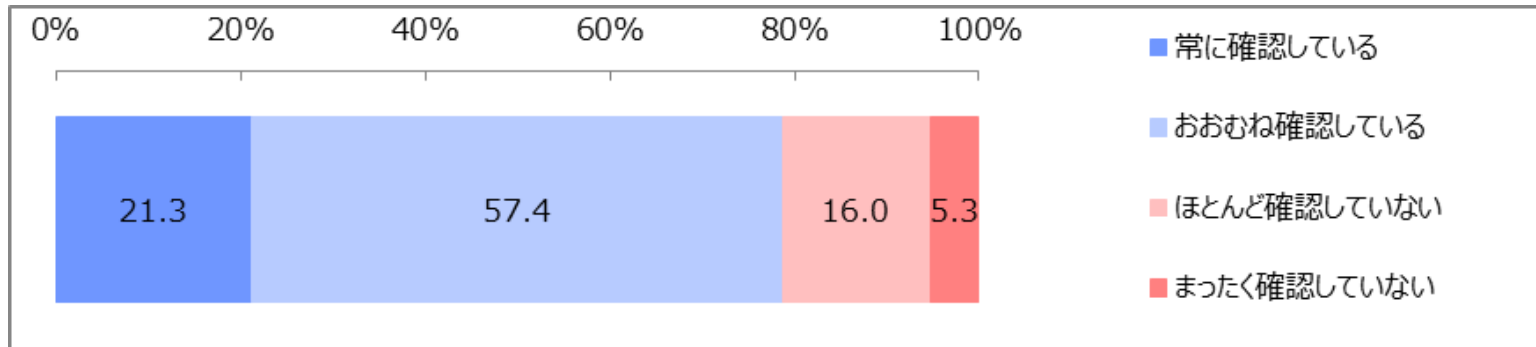
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の種類の確認

- 公衆無線LANサービス利用時に暗号化の有無を確認している人の多く（約79%）は、暗号化の種類も確認している。
- 常時確認している人も約21%いる。
- これらの傾向は昨年度調査と同様である。

Q27.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線区間の暗号化の有無に加えて暗号化の種類（WEP・WPA等）を確認していますか。

SA

	n	%
全体	188	100.0
1 常に確認している	40	21.3
2 おおむね確認している	108	57.4
3 ほとんど確認していない	30	16.0
4 まったく確認していない	10	5.3



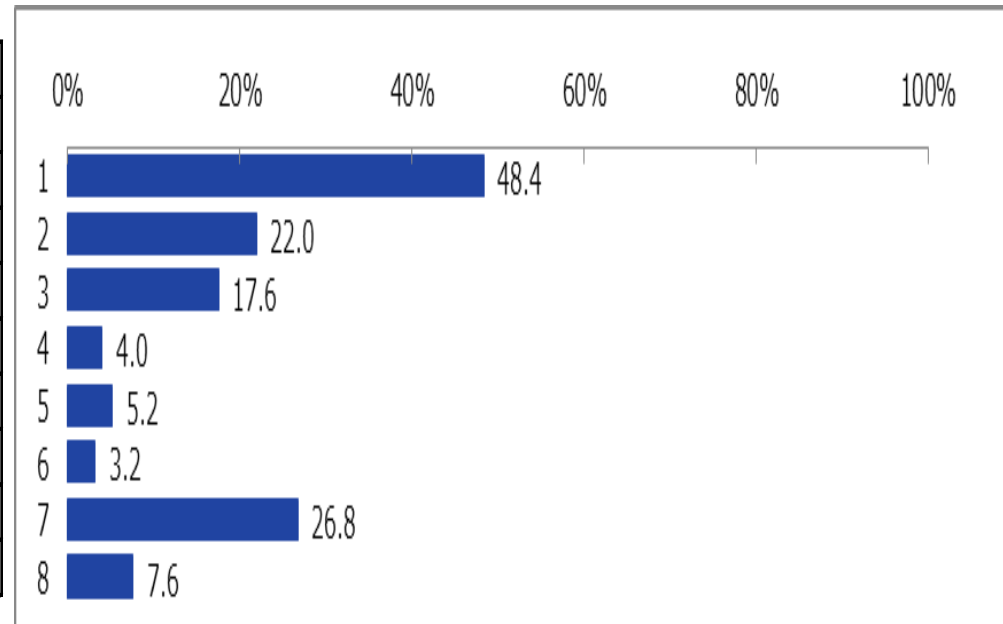
## □ 【暗号化】 公衆Wi-Fi利用時の暗号化の非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時に暗号化の有無を確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約48%）、面倒くさい（約27%）自動接続される（約22%）、などが多い。
- 昨年度調査で3位の「面倒くさい」ユーザが増加している。

Q28.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合、無線区間の暗号化の有無を確認しないのはなぜですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	250	100.0
1 確認方法がわからないため	121	48.4
2 サービスエリアになると自動接続されるため	55	22.0
3 個人情報などの重要な情報をやりとりしないため	44	17.6
4 端末にセキュリティ対策をしているため	10	4.0
5 VPNサービスを利用しているため	13	5.2
6 無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用しているため	8	3.2
7 確認が面倒くさいため	67	26.8
8 確認の必要性を感じないため	19	7.6



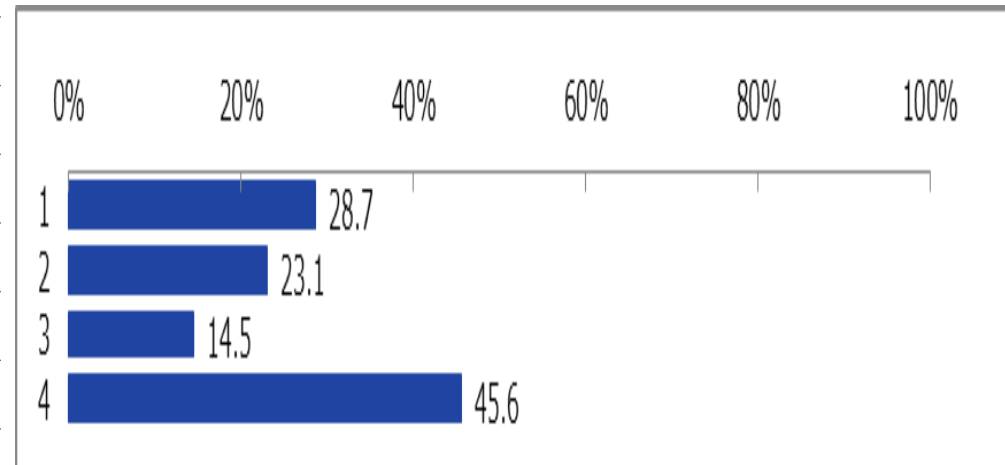
## □ 【https通信】 HTTPS通信の認知

- https通信について何も知らないユーザが、昨年度調査では40%だったが、今年度調査では46%に増加している。
- 認知している人も、https://なら暗号化されることを知っているユーザが約29%（昨年度約31%）、鍵マークを知っているユーザが約23%（昨年度約26%）。

Q29. Webサイトの閲覧等の際に、手元の端末から、Webサイトのサーバまでの間の通信を暗号化する手法として、いわゆるHTTPS（TLS）通信があります。また、HTTPS通信であることは、URLの先頭が「https://」であったり、ブラウザのURL入力欄に鍵マークがついていたりすることで確認できます。これを知っていますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	537	100.0
1 「https://」なら暗号化されることを知っていた	154	28.7
2 URL入力欄の鍵マークなら暗号化されることを知っていた	124	23.1
3 通信を暗号化する手法があることは知っていたが、確認方法は知らなかった	78	14.5
4 何も知らなかった	245	45.6



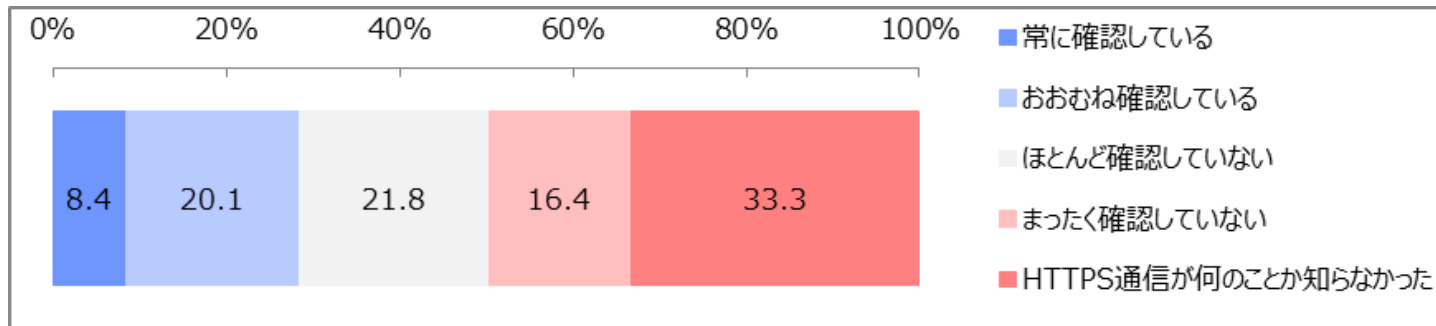
## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の確認

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認しているユーザは、昨年度調査では約34%だったが、今年度調査では約29%に減少している。
- 常時確認者は約8%しかおらず、そもそも、https通信が何のことかわからない人が約33%いる。

Q30.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認していますか。なお、HTTPS通信であることは、URLの先頭が「https://」であったり、ブラウザのURL入力欄に鍵マークがついていたりすることで確認できます。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 常に確認している	45	8.4
2 おおむね確認している	108	20.1
3 ほとんど確認していない	117	21.8
4 まったく確認していない	88	16.4
5 HTTPS通信が何のことかわらなかった	179	33.3



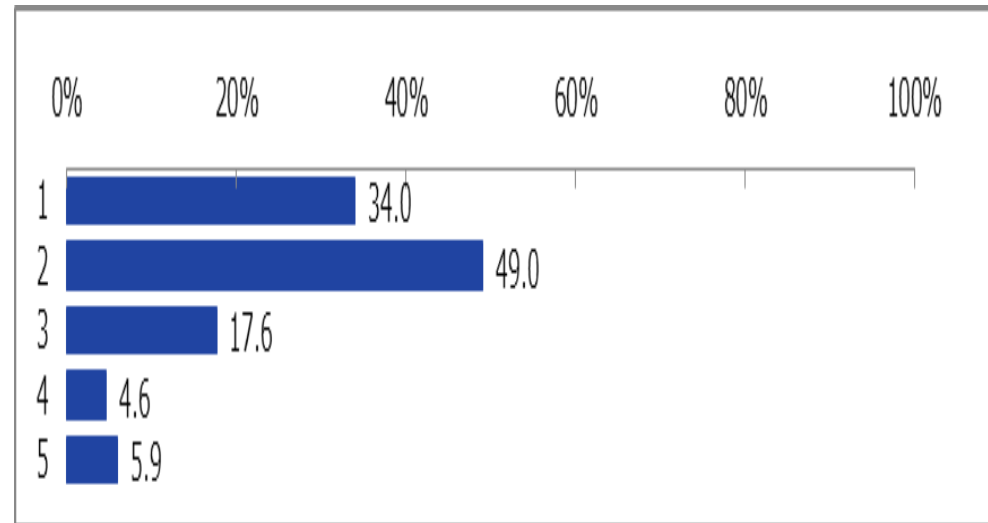
## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の確認シーン

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信を確認する人の約半数は初めて利用するサービスのときにhttps通信の確認をしている。
- 昨年度調査では、次いで、普段利用しない場所で使うときが約31%だったが、今年度調査では約18%に減少し、代わって常時確認ユーザが34%（昨年度28%）に増加している。

Q31.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認するのはどのようなときですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	153	100.0
1 状況によらず常に確認している	52	34.0
2 初めて利用する公衆無線LANサービスのとき	75	49.0
3 普段利用しない場所で使うとき	27	17.6
4 通信状況が悪いとき（通信が重い、途切れるなど）	7	4.6
5 個人情報など重要な情報をやりとりするとき	9	5.9



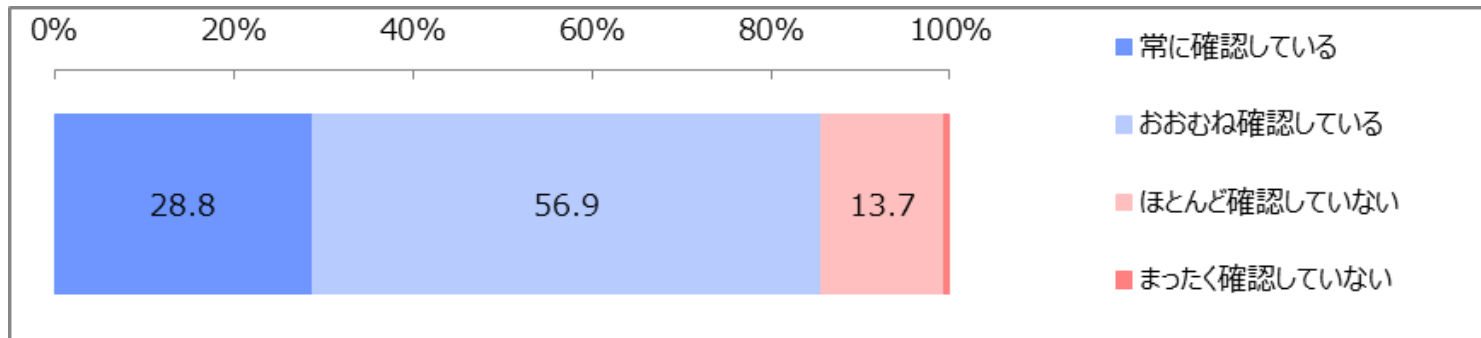
## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信+ドメインの確認

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認している人の多く（約85%）は、ドメインも確認している。
- 常時確認している人も約29%いる。
- これらの傾向は昨年度調査と同様である。

Q32.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無に加えてドメイン（「https://」に続く部分。例えば「soumu.go.jp」など。）を確認していますか。

SA

	n	%
全体	153	100.0
1 常に確認している	44	28.8
2 おおむね確認している	87	56.9
3 ほとんど確認していない	21	13.7
4 まったく確認していない	1	0.7





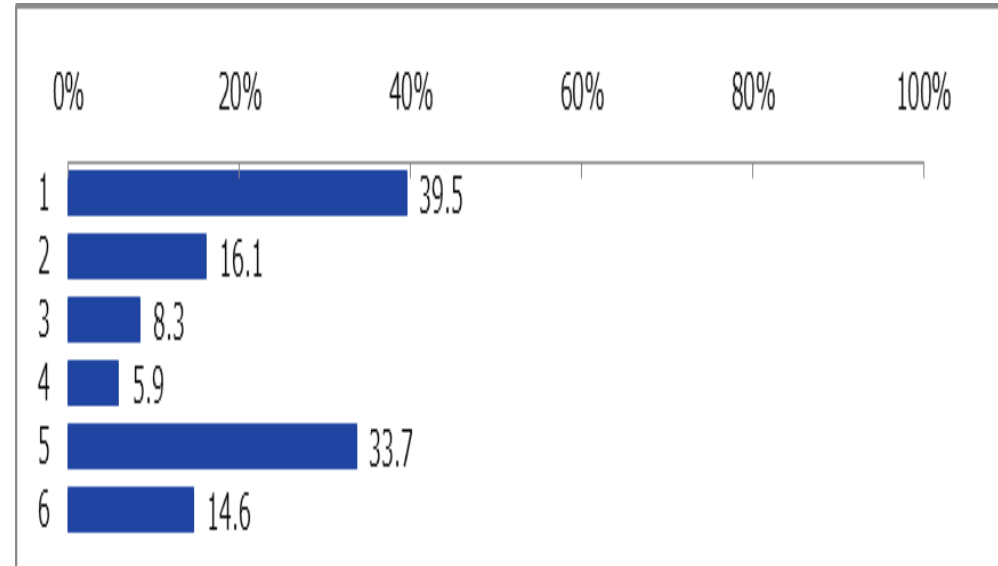
## □ 【https通信】 公衆Wi-Fi利用時のHTTPS通信の非確認理由

- 公衆無線LANサービス利用時にhttps通信の有無を確認しない人の理由としては、確認方法がわからない（約39%）、面倒くさい（約36%）などが多い。
- この傾向は昨年度調査と同様である。

Q33.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、HTTPS通信の有無を確認しないのはなぜですか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	205	100.0
1 確認方法がわからないため	81	39.5
2 個人情報などの重要な情報をやりとりしないため	33	16.1
3 端末にセキュリティ対策をしているため	17	8.3
4 VPNサービスを利用しているため	12	5.9
5 確認が面倒くさいため	69	33.7
6 確認の必要性を感じないため	30	14.6



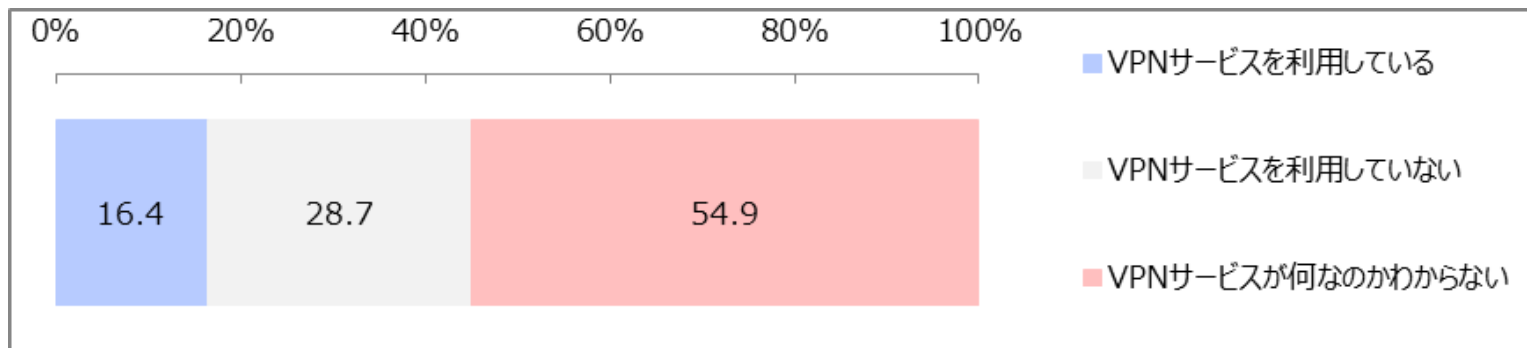
## □公衆Wi-Fi利用時のVPNの利用

- 公衆無線LANサービス利用時にVPNサービスを利用しているユーザは約16%。
- そもそもVPNサービスが何なのかわからないユーザが約55%いる。
- この傾向は昨年度調査と同様である。

Q34.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、VPNサービスを利用していますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 VPNサービスを利用している	88	16.4
2 VPNサービスを利用していない	154	28.7
3 VPNサービスが何なのかわからない	295	54.9



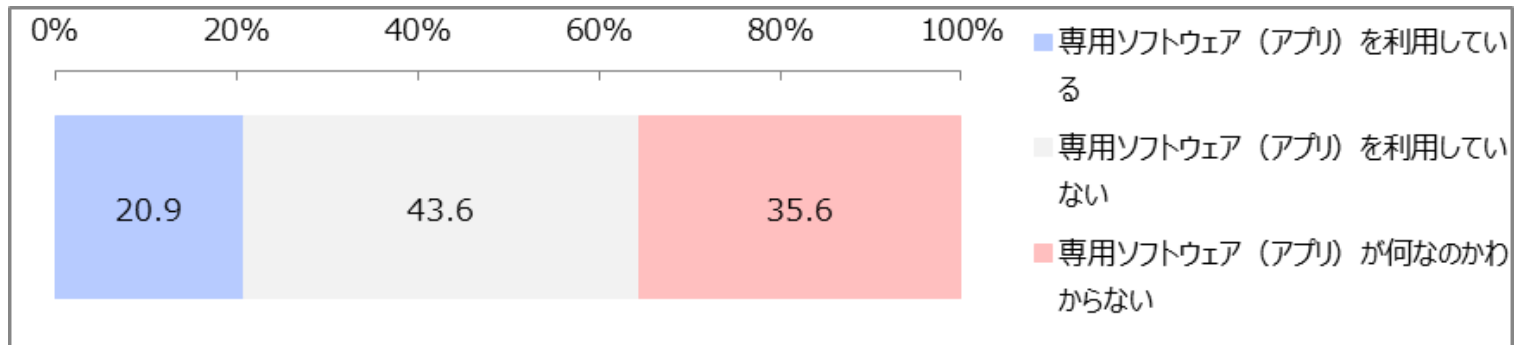
## □公衆Wi-Fi利用時の専用アプリの利用

- 公衆無線LANサービス利用時に専用ソフトウェア（アプリ）を利用している人は約2割。
- そもそも専用ソフトウェア（アプリ）が何なのかわからない人が約4割いる。
- この傾向は昨年度調査と同様である。

Q35.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、無線LAN接続の専用ソフトウェア（アプリ）を利用していますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 専用ソフトウェア（アプリ）を利用している	112	20.9
2 専用ソフトウェア（アプリ）を利用していない	234	43.6
3 専用ソフトウェア（アプリ）が何なのかわからない	191	35.6



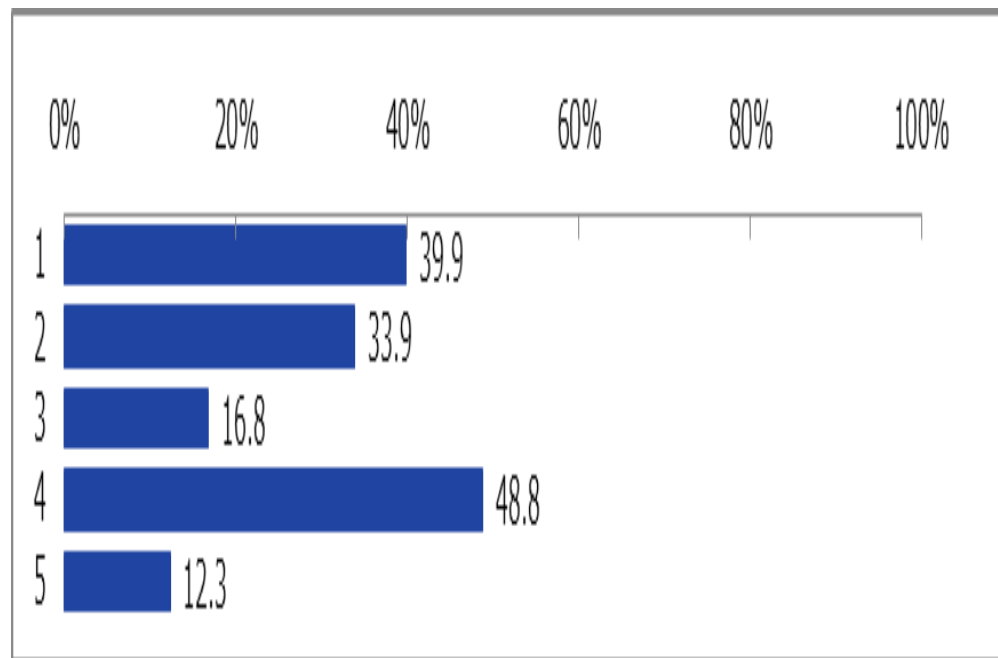
## □公衆Wi-Fi利用の不安感

- 公衆無線LANサービス利用時にセキュリティ上の不安がある人が約9割と大多数。
- 最も多いセキュリティ上の不安は漠然としたもの（約49%）で、具体的なものとしては、情報窃取（約40%）、不正侵入（約44%）などがある。

Q36.公衆無線LANサービスを外出先で利用する場合に、セキュリティ上の不安はありますか。（いくつでも）

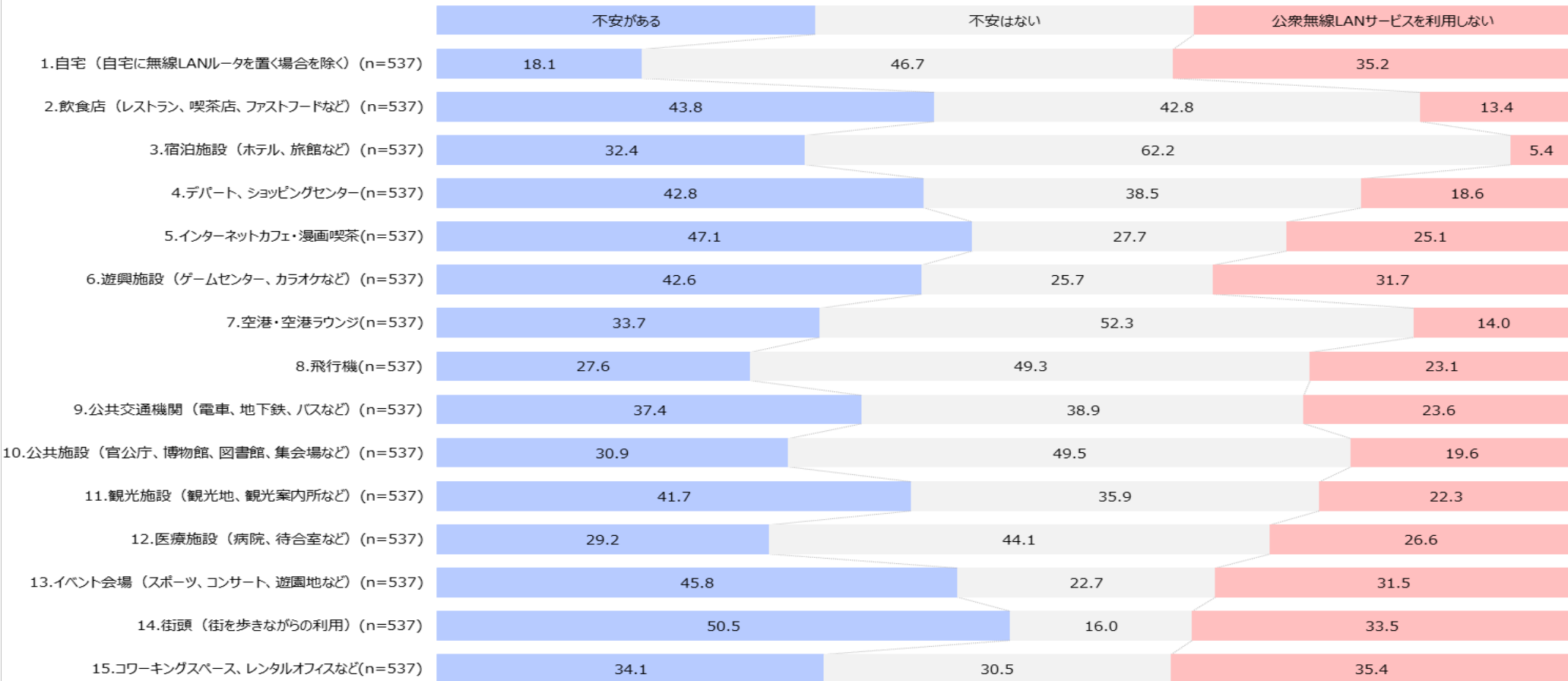
MA

	n	%
全体	537	100.0
1 情報窃取（個人情報やID/パスワードの漏えい等）の不安がある	214	39.9
2 外部から不正侵入を受ける不安がある	182	33.9
3 金銭的被害を受ける不安がある	90	16.8
4 漠然としたセキュリティ上の不安がある	262	48.8
5 セキュリティ上の不安はない	66	12.3



## □ 公衆Wi-Fi利用の場所ごとの不安感

- 公衆無線LANサービスの利用に最も不安がないのは宿泊施設での公衆無線LANサービス利用。（不安なし約62%）
- 最も不安が大きいのは街頭で、約51%が不安。次いで、インターネットカフェ（約47%が不安）、イベント会場（同約46%）など。



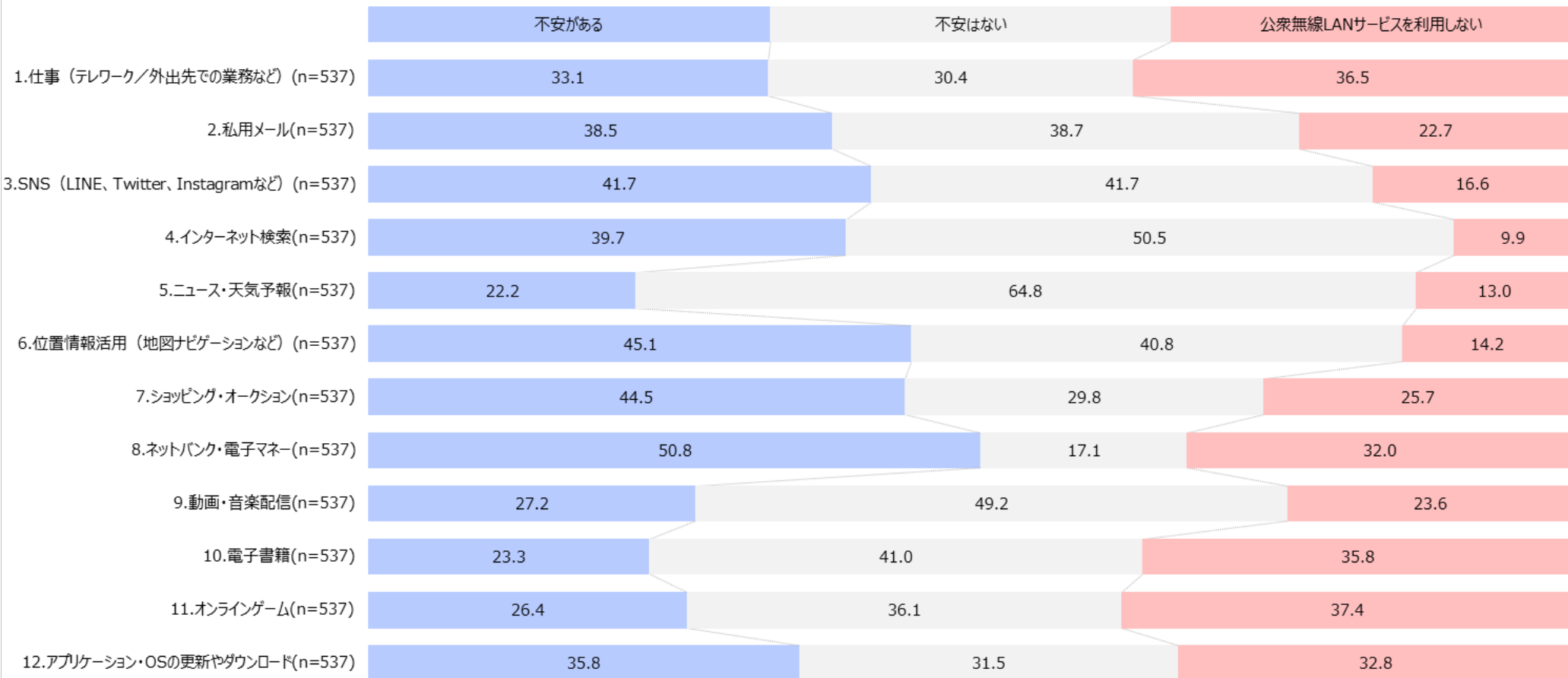
Q37.次の場所で公衆無線LANサービスを利用する時に、不安はありますか。

SA

	n	不安がある	不安はない	公衆無線LANサービスを利用しない
1.自宅（自宅に無線LANルータを置く場合を除く）	537 100.0	97 18.1	251 46.7	189 35.2
2.飲食店（レストラン、喫茶店、ファストフードなど）	537 100.0	235 43.8	230 42.8	72 13.4
3.宿泊施設（ホテル、旅館など）	537 100.0	174 32.4	334 62.2	29 5.4
4.デパート、ショッピングセンター	537 100.0	230 42.8	207 38.5	100 18.6
5.インターネットカフェ・漫画喫茶	537 100.0	253 47.1	149 27.7	135 25.1
6.遊興施設（ゲームセンター、カラオケなど）	537 100.0	229 42.6	138 25.7	170 31.7
7.空港・空港ラウンジ	537 100.0	181 33.7	281 52.3	75 14.0
8.飛行機	537 100.0	148 27.6	265 49.3	124 23.1
9.公共交通機関（電車、地下鉄、バスなど）	537 100.0	201 37.4	209 38.9	127 23.6
10.公共施設（官公庁、博物館、図書館、集会場など）	537 100.0	166 30.9	266 49.5	105 19.6
11.観光施設（観光地、観光案内所など）	537 100.0	224 41.7	193 35.9	120 22.3
12.医療施設（病院、待合室など）	537 100.0	157 29.2	237 44.1	143 26.6
13.イベント会場（スポーツ、コンサート、遊園地など）	537 100.0	246 45.8	122 22.7	169 31.5
14.街頭（街を歩きながらの利用）	537 100.0	271 50.5	86 16.0	180 33.5
15.コワーキングスペース、レンタルオフィスなど	537 100.0	183 34.1	164 30.5	190 35.4

## □公衆Wi-Fi利用の目的(サービス)ごとの不安感

- 公衆無線LANサービスの利用に最も不安がないのはニュース・天気予報。(不安なし約65%)
- 最も不安が大きいのはネットバンク・電子マネーで約51%が不安。次いで、位置情報活用(約45%が不安)、ショッピング・ネットオークション(同約45%)。



Q38.次のサービスを公衆無線LANサービスで利用する時に、不安はありますか。

SA

	n	不安がある	不安はない	公衆無線LANサービスを利用しない
1.仕事（テレワーク／外出先での業務など）	537 100.0	178 33.1	163 30.4	196 36.5
2.私用メール	537 100.0	207 38.5	208 38.7	122 22.7
3.SNS（LINE、Twitter、Instagramなど）	537 100.0	224 41.7	224 41.7	89 16.6
4.インターネット検索	537 100.0	213 39.7	271 50.5	53 9.9
5.ニュース・天気予報	537 100.0	119 22.2	348 64.8	70 13.0
6.位置情報活用（地図ナビゲーションなど）	537 100.0	242 45.1	219 40.8	76 14.2
7.ショッピング・オークション	537 100.0	239 44.5	160 29.8	138 25.7
8.ネットバンク・電子マネー	537 100.0	273 50.8	92 17.1	172 32.0
9.動画・音楽配信	537 100.0	146 27.2	264 49.2	127 23.6
10.電子書籍	537 100.0	125 23.3	220 41.0	192 35.8
11.オンラインゲーム	537 100.0	142 26.4	194 36.1	201 37.4
12.アプリケーション・OSの更新やダウンロード	537 100.0	192 35.8	169 31.5	176 32.8



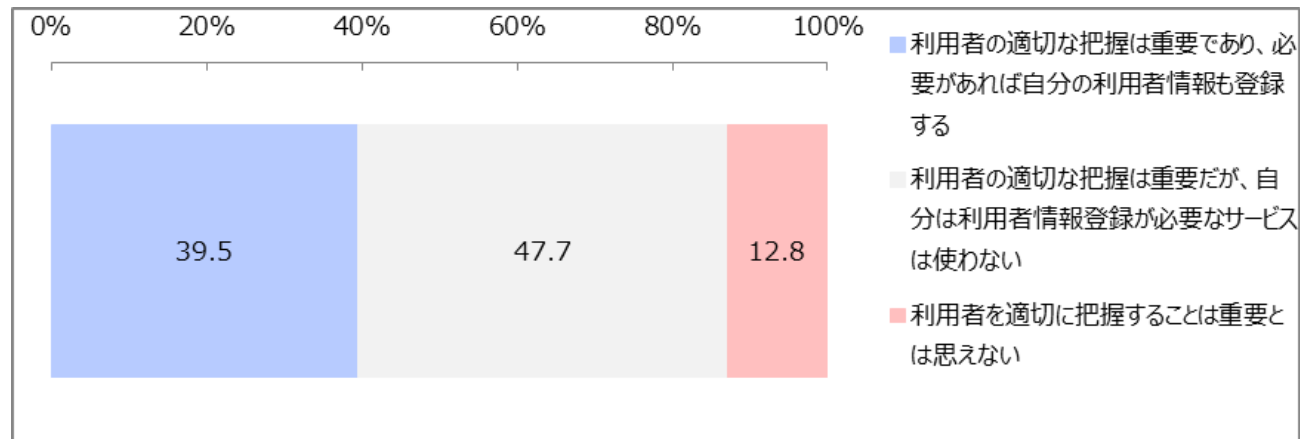
## □公衆Wi-Fi利用時の利用者情報登録許諾

- 公衆無線LANサービスの利用に際し、利用者の適切な把握は重要、と考える人は約9割で大多数。
- 実際に、必要があれば自分の利用者情報を登録するという人は、重要視する人の半数以下の約40%に留まる。

Q39.公衆無線LANサービスを利用する時には、不正利用防止のため、利用者情報を確認する場合があります。利用者情報の確認には、SNS（LINE、Twitter等）アカウントや、メールアドレス、携帯電話番号などを、公衆無線LANサービスに登録等する必要があると思いますが、どのように考えますか。

SA

	n	%
全体	537	100.0
1 利用者の適切な把握は重要であり、必要があれば自分の利用者情報も登録する	212	39.5
2 利用者の適切な把握は重要だが、自分は利用者情報登録が必要なサービスは使わない	256	47.7
3 利用者を適切に把握することは重要とは思えない	69	12.8



# ■ 本調査：自宅Wi-Fiまたは公衆Wi-Fi利用者

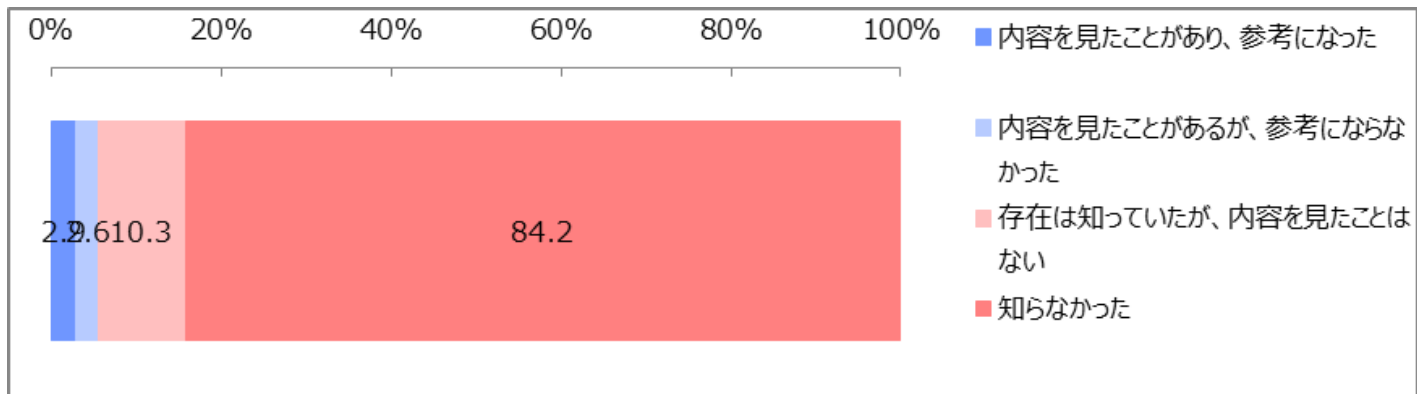
## □ 総務省ガイドライン(緑)認知

- 総務省「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」の存在を知っていた人は約16%で、うち、内容を見たことがある人は約6%に留まる。
- 昨年度調査における、認知度19%・閲覧経験8%と比べ、低下している。

Q40.総務省では、無線LANの利用者に向けて、必要なセキュリティ対策をとりまとめた「Wi-Fi利用者向け簡易マニュアル」を公表していますが、ご存じですか。※下記のURLを必ずクリックしてからお答えください。

SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 内容を見たことがあり、参考になった	29	2.9
2 内容を見たことがあるが、参考にならなかった	26	2.6
3 存在は知っていたが、内容を見たことはない	103	10.3
4 知らなかった	842	84.2



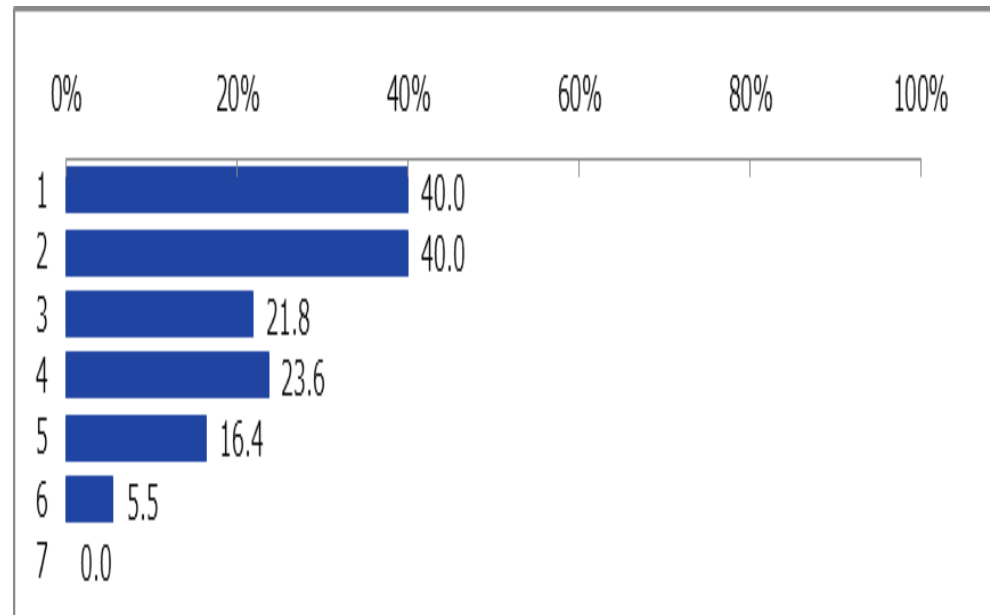
## □総務省ガイドライン(緑)評価

- 総務省「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」の内容を見たことがあるユーザのうち、内容が充実しており参考になった（約40%）、もっと技術的・具体的な観点からの記載がほしかった（約40%）などの評価が多かった。

Q41.「Wi-Fi利用者向け 簡易マニュアル」を見たときの所感・感想を聞かせてください

MA

	n	%
全体	55	100.0
1 内容が充実しており参考になった	22	40.0
2 もっと技術的・具体的な観点からの記載がほしかった	22	40.0
3 もっと具体的な例の記載がほしかった	12	21.8
4 全体構成がわかりにくかった（どこを読んでよいかわからなかった）	13	23.6
5 ページ数（分量）が多すぎた	9	16.4
6 ページ数（分量）は適切であった	3	5.5
7 ページ数（分量）が少なすぎた	0	0.0



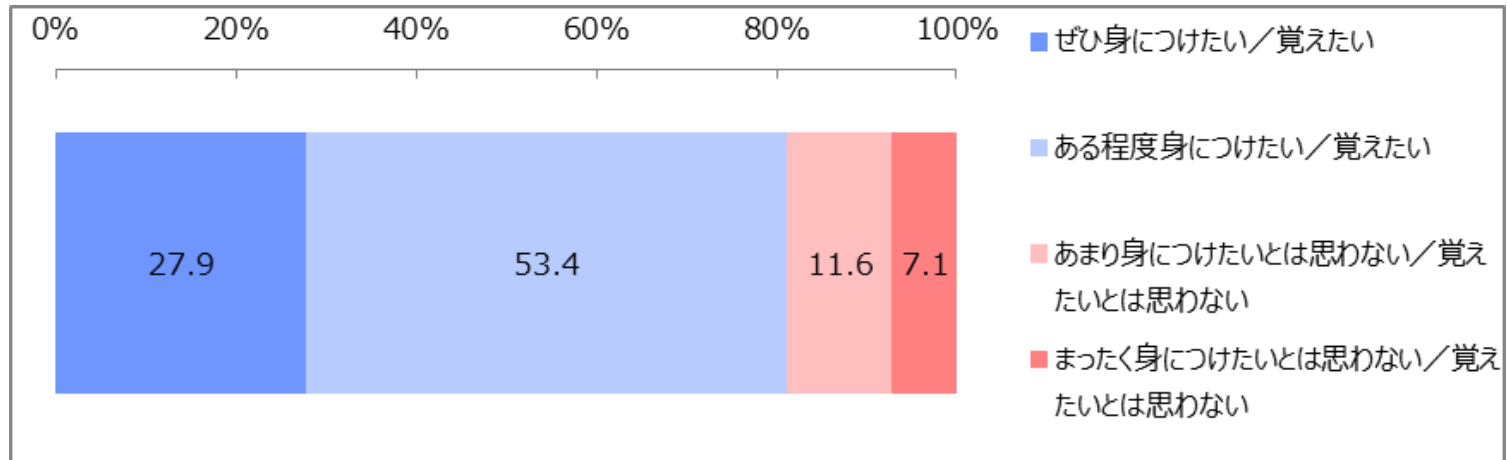
## □セキュリティ知識獲得意欲

- セキュリティの正しい知識を身につけたい／覚えたい人は約81%にのぼるが、昨年度調査の約86%よりも低下している。

Q42.無線LANの利用に際して、セキュリティについて正しい知識を持ったうえで、適切に利用することが求められますが、あなたは、セキュリティの正しい知識を身につけたい・覚えたいと思いますか。

SA

	n	%
全体	1000	100.0
1 ぜひ身につけたい／覚えたい	279	27.9
2 ある程度身につけたい／覚えたい	534	53.4
3 あまり身につけたいとは思わない／覚えたいとは思わない	116	11.6
4 まったく身につけたいとは思わない／覚えたいとは思わない	71	7.1



## □国の取り組み

- 無線LANのセキュリティ確保のために国が進めるべき取り組みについて、最も多い意見は、メディア広告による周知啓発（約45%）。
- 次いで、インターネット事業者への規制強化（約38%）、通信機器製造事業者への規制強化（約32%）など。
- この傾向は昨年度調査と同様である。

Q43.無線LANのセキュリティ確保のために、国はどのような取組を進めるべきだと思いますか。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	1000	100.0
1 文書（マニュアルやガイド本など）での周知啓発	249	24.9
2 動画講座での周知啓発	318	31.8
3 メディア広告による周知啓発	451	45.1
4 セキュリティに関する機器製造事業者への規制の強化	319	31.9
5 セキュリティに関するインターネット事業者への規制の強化	379	37.9
6 セキュリティに関する利用者への規制の強化	211	21.1
7 セキュリティ推奨となる製品の公表	248	24.8
8 セキュリティが弱い状態の機器の調査と注意喚起	314	31.4
9 特に何もする必要はない	127	12.7

